



令和6年度
教育委員会点検・評価報告書
(令和5年度対象)

令和6年8月

春日部市教育委員会

目 次

I	はじめに	2
II	点検・評価の実施方法	3
III	点検・評価の結果	4
1	教育委員会の活動	4
	教育委員会委員の活動実績	6
2	教育委員会が管理・執行する事務（議案・報告等一覧）	7
3	教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	16
	基本目標 1 子どもが幸せに育ち、生きる力をはぐくむまち	
	政策 1 安心して子どもを産み、楽しく子育てできるまちをつくる	
	施策 1 安心して子育てできる切れ目のない支援	17
	政策 2 知・徳・体のバランスがとれた子どもを育てるまちをつくる	
	施策 1 「生きる力」を育む学校づくりの推進	19
	施策 2 一人ひとりを大切にされた教育の推進	25
	施策 3 充実した学校環境づくりの推進	28
	基本目標 3 市民が主役となって活躍し、生きがいを持てるまち	
	政策 2 一人ひとりの個性と人権が尊重されるまちをつくる	
	施策 1 人権を尊重するまちづくりの推進	37
	政策 3 だれもが学べ、地域に生かせるまちをつくる	
	施策 1 社会教育の充実	39
	施策 2 生涯学習の振興	49
	政策 4 文化・芸術や郷土の歴史を大切にするまちをつくる	
	施策 1 文化・芸術の創造と振興	51
	施策 2 郷土の歴史と文化遺産の保存と活用	53
	政策 5 スポーツ・レクリエーションを楽しめるまちをつくる	
	施策 1 スポーツ・レクリエーション活動の推進	56
IV	学識経験者による意見	61

I はじめに

今日、教育を取り巻く環境がめまぐるしく変化する中、地域の実情に応じた教育行政を展開していくためには、地方教育行政を中心的に執行する教育委員会がその役割を発揮し、責任を果たしていくことが改めて求められている。

春日部市教育委員会では「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下、「地教行法」という。）の規定により、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表している。また、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図っている。

本年度も、前年度実施した事務事業の点検及び評価の結果並びに学識経験者からいただいたご意見等を踏まえ、このたび、教育委員会の点検及び評価を実施し、報告書にまとめた。

春日部市教育委員会教育長		鎌	田	亨
同	教育長職務代理者	水	沼	章文
同	委員	金	森	良泰
同	委員	岡	田	新司
同	委員	山	口	早苗

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

II 点検・評価の実施方法

1 実施方法

教育委員会の運営状況及び施策・事業の取組実績等を取りまとめ、教育委員会が自己評価を行った後、点検・評価の方法や結果について、学識経験者3人をもって組織する春日部市教育委員会事務評価委員会からご意見をいただいた。

【春日部市教育委員会事務評価委員会】

(敬称略)

委員区分	氏名	役職等
委員長	濱本 一	共栄大学副学長
委員長職務代理者	小林 学	元江戸川小中学校校長
委員	白濱 容麗子	元春日部市生涯学習地域推進員

2 対象年度

令和5年度とする。

3 評価項目

評価項目については、地教行法で規定されている「教育に関する事務の管理及び執行の状況」を大きく三項目に区分し、「教育委員会の活動」、「教育委員会が管理・執行する事務」及び「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」の管理及び執行状況について、点検・評価を行うこととした。

① 教育委員会の活動

教育委員会の会議運営状況・公開状況等を6つの中項目に分け、教育委員会の活動状況について点検・評価を行った。

② 教育委員会が管理・執行する事務

地教行法第25条及び春日部市教育委員会教育長に対する事務委任規則第2条の規定に基づき教育委員会自らが管理・執行することとされている事務を会議ごとにまとめ、審議状況等について点検・評価を行った。

③ 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

第2次春日部市総合振興計画後期基本計画において教育委員会の施策として体系づけられた施策ごとに、各事務事業の取組実績を基に今後の課題を分析、検討した上で、点検・評価を行った。

Ⅲ 点検・評価の結果

1 教育委員会の活動

(1) 教育委員会の会議運営に関すること

月1回の定例教育委員会会議、臨時教育委員会議2回の計14回開催した。定例会に合わせ、市長との協議・調整を行う総合教育会議を3回実施した。

また、会議での審議をより一層充実させるため、各定例教育委員会の終了後に、各施策の説明や行事等の進捗状況の報告、意見交換を行う「教育委員会委員と執行部の勉強会」を実施し、教育課題等についての認識の共有化を図った。

(2) 教育委員会の会議の公開、保護者や地域住民への情報発信

会議の1週間前に開催案内を市ホームページに掲載した。

市ホームページに「教育委員会点検・評価報告書（令和4年度対象）」や「春日部市の教育」、「教育行政の基本方針と重点施策」を掲載したほか、教育委員会独自のホームページで情報発信を行った。

また、平成31年1月分から会議録をホームページに掲載し、公開している。

(3) 教育委員会と事務局との連携に関すること

会議開催4日前までに教育委員会委員あて議案書等を配布し、議案内容等の説明を行い、委員が事前に内容等を把握できるよう情報提供に努めた。

また、「教育委員会委員と執行部の勉強会」の実施により、事務局との連携を深めることができた。

(4) 教育委員会と市長の連携に関すること

令和5年7月に「令和5年度第1回春日部市総合教育会議」を、春日部市役所本庁舎2階全員協議会室で実施し、地区センター、部活動の地域移行について意見交換を行った。

令和5年10月に「令和5年度第2回春日部市総合教育会議」を、春日部市役所本庁舎2階市長公室で実施し、公共施設マネジメント基本計画、教育センターの活用、令和6年度教育行政の重点施策について意見交換を行った。

令和6年2月に「令和5年度第3回春日部市総合教育会議」を、春日部市役所本庁舎5階市長公室で実施し、新庁舎の施設概要、不登校（コロナ後の課題）、スポーツを通じた青少年教育について意見交換を行った。

(5) 教育委員会委員の自己研鑽に関すること

行政視察（1回）を行い、視察終了後、勉強会において視察の意見交換を行うとともに、各種研修会や講演会に出席し、自己研鑽に努めた。

◎教育委員会委員行政視察（令和5年11月14日）

- ・「学校の水泳授業を実施する公営プールの整備・利用状況について」

（茨城県神栖市）

「はさきマリンプール」を訪問し、一般市民が使用するだけでなく、学校の水泳授業を実施できるプールとして整備している事例について学んだ。

◎その他の研修等

- ・ 埼玉葛地区教育委員会連合会総会（三郷市）
- ・ 埼玉県市町村教育委員会連合会総会（羽生市）
- ・ 埼玉県市町村教育委員会教育委員研究協議会（さいたま市）
- ・ 埼玉葛地区教育委員会連合会（白岡市）
- ・ 埼玉葛地区教育委員会連合会・東部地区教育長協議会合同研修会（白岡市）

（6）教育委員会委員の学校及び教育施設訪問に関すること

教育施設訪問については、定期的には実施するのではなく、話題となる施設が整備された際に、適宜実施する方向性へ切り替え、令和5年度は実施しなかった。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しながら、学校行事（研究委嘱校研究発表会、運動会・体育祭、卒業式）や社会教育事業（二十歳を祝う会）等に出席し、各施設を訪問した。

評 価

開かれた教育委員会として、市のホームページで春日部市の教育、教育行政の基本方針と重点施策、会議録等を公開するほか、教育委員会独自のホームページで情報発信している。今後もホームページを見る人にとって、より見やすく、分かりやすくなるよう改善を図っていきたい。

執行部との勉強会では、教育長の行動記録、教育委員会委員の各種会議報告、各施策の説明や各担当課の事務事業の進捗状況等について、報告・意見交換を行うことにより、教育長及び事務局と共通認識を持つことができた。今後も、勉強会を通じて、事務局との連携を深めるとともに、教育課題等についての理解を深めるための学習の場として活用していきたい。

市長と教育委員会の協議・調整を行う総合教育会議は、令和5年度は年3回実施した。その中では、令和6年度教育行政の重点施策、部活動の地域移行、教育施設を含む公共施設等について意見交換を行い、市長との連携をより深めることができ、有意義であった。

行政視察や教育施設訪問については、新型コロナウイルス感染症が、令和5年5月8日に感染症法上第5類の位置づけに移行したこともあり、再開することができた取組が数多くあった。引き続き感染状況や、国・県等の動向を注視するだけでなく、コロナ禍の教訓を活かしながら、コロナ禍前の良き教育活動を発展的に取り戻していく必要があると考えている。

教育委員会委員の活動実績

月	主な行事	主な会議
4月	○転入・新採用校長着任式 ○転入・新採用教職員着任式	○年度当初小・中学校等校長研究協議会 ○定例教育委員会
5月	○第35回春日部大風マラソン大会 ○市内中・義務教育学校体育祭視察	○定例教育委員会 ○埼玉葛地区教育委員会連合会理事会、総会及び講演会 ○埼玉県市町村教育委員会連合会総会 ○関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会
6月	○教科書展示会視察	○定例教育委員会
7月	○春日部市教育委員会表彰式	○定例教育委員会 ○総合教育会議 ○埼玉県市町村教育委員会教育委員研究協議会
8月		○臨時教育委員会 ○定例教育委員会
9月		○定例教育委員会 ○臨時教育委員会
10月	○市内小学校運動会視察	○定例教育委員会 ○総合教育会議
11月	○武里小学校150周年式典 ○市教委委嘱研究発表会視察	○定例教育委員会 ○教育委員会委員行政視察 ○埼玉葛地区教育委員会連合会第2回理事会 ○埼玉葛地区教育委員会連合会・東部地区教育長協議会合同研修会
12月		○定例教育委員会
1月	○令和6年二十歳を祝う会	○定例教育委員会
2月		○定例教育委員会 ○総合教育会議
3月	○小・中・義務教育学校卒業証書授与式 (小学校22校、中学校11校、義務教育学校1校)	○定例教育委員会

2 教育委員会が管理・執行する事務

地教行法第 25 条及び春日部市教育委員会教育長に対する事務委任規則第 2 条の規定により、令和 5 年度は議案 47 件について審議し、44 件の報告を受け、2 件の協議を行った。

議案・報告等一覧

<4 月定例会>

議案第 27 号 春日部市立小学校、中学校及び義務教育学校学区審議会委員の委嘱について

委員の欠員に伴う、委員の委嘱について審議した。

議案第 28 号 第 2 次春日部市市史編さん事業計画（第 2 期）の策定について

春日部市市史編さん委員会条例第 2 条の規定に基づき、第 2 期計画（案）を策定することについて審議した。

議案第 29 号 春日部市スポーツ推進審議会委員の委嘱について

委員の欠員に伴う、委員の委嘱について審議した。

報告第 27 号 春日部市教育委員会の事務部局の職員に対する人事評価実施要綱の制定について

「春日部市長の事務部局の職員に対する人事評価実施要綱」の制定に伴い、本要綱を制定したことについて報告を受けた。

報告第 28 号 春日部市学校施設長寿命化整備検討委員会要綱の制定について

組織機構改革に伴い、これまでの要綱を廃止し、新たに本要綱を制定したことについて報告を受けた。

報告第 29 号 春日部市英語検定料助成金交付要綱の廃止について

事業の見直しを行った結果、令和 4 年度をもって終了したことに伴い、本要綱を廃止したことについて報告を受けた。

報告第 30 号 春日部市未来を育む奨学金提案事業審査委員会要綱の廃止について

事業の見直しを行った結果、令和 4 年度をもって終了したことに伴い、本要綱を廃止したことについて報告を受けた。

報告第 31 号 春日部市未来を育む奨学金提案事業の審査に関する有識者会議要綱の廃止について

事業の見直しを行った結果、令和 4 年度をもって終了したことに伴い、本要綱を廃止したことについて報告を受けた。

報告第 32 号 県費負担教職員の処分について

春日部市教育委員会会議規則第 18 条の規定により、会議を非公開とした。

報告第 33 号 春日部市学校給食費公会計化庁内検討委員会設置要綱の廃止について

令和 5 年度から学校給食費に係る公会計制度を導入し、庁内検討委員会の目的を達成したことに伴い、本要綱を廃止したことについて報告を受けた。

- 報告第 34 号 春日部市生涯学習推進本部要綱の制定について
組織機構改革に伴い、これまでの要綱を廃止し、新たに本要綱を制定したことについて報告を受けた。
- 報告第 35 号 春日部市立体育施設及び春日部市都市公園指定管理者候補者選定委員会要綱の制定について
組織機構改革に伴い、委員の構成に変更が生じたことから本要綱を改正したことについて報告を受けた。

<5 月定例会>

- 議案第 30 号 粕壁小学校校舎トイレ改修工事請負契約の締結について
令和 5 年 6 月市議会定例会に上程する粕壁小学校校舎トイレ改修工事請負契約の締結について審議した。
- 議案第 31 号 幸松小学校校舎トイレ改修工事請負契約の締結について
令和 5 年 6 月市議会定例会に上程する幸松小学校校舎トイレ改修工事請負契約の締結について審議した。
- 議案第 32 号 豊春小学校校舎トイレ改修工事請負契約の締結について
令和 5 年 6 月市議会定例会に上程する豊春小学校校舎トイレ改修工事請負契約の締結について審議した。
- 議案第 33 号 桜川小学校体育館外壁等耐震対策工事請負契約の締結について
令和 5 年 6 月市議会定例会に上程する桜川小学校体育館外壁等耐震対策工事請負契約の締結について審議した。
- 議案第 34 号 春日部市社会教育委員の委嘱について
委員の欠員に伴う、委員の委嘱について審議した。
- 報告第 36 号 児童生徒数・県費負担教職員数の推移について
児童生徒数・県費負担教職員数の推移について報告を受けた。

【追加議案】

- 議案第 35 号 令和 5 年度春日部市一般会計（教育費）補正予算について
令和 5 年 6 月定例市議会に提案する令和 5 年度春日部市一般会計補正予算に教育費補正予算を要求したことについて審議した。

【追加協議】

- 協議第 1 号 春日部市庄和市民センター正風館及び庄和高齢者憩いの家個別施設計画（案）について
春日部市庄和市民センター正風館及び庄和高齢者憩いの家個別施設計画（案）について、協議した。

<6 月定例会>

- 議案第 36 号 春日部市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について
委員の任期満了に伴う、委員の委嘱について審議した。
- 議案第 37 号 春日部市文化財保存活用地域計画協議会委員の委嘱について
委員の任期満了に伴う、委員の委嘱について審議した。
- 議案第 38 号 春日部市スポーツ推進委員の委嘱について
委員の補充に伴う、委員の委嘱について審議した。

- 報告第 37 号 春日部市温水プール（学校教育優先）整備基本構想策定庁内検討委員会要綱の制定について
春日部市温水プール（学校教育優先）整備基本構想策定庁内検討委員会の設置に伴い、新たに本要綱を制定したことについて報告を受けた。
- 報告第 38 号 春日部市学校再編推進委員会要綱の制定について
春日部市学校再編推進委員会の設置に伴い、新たに本要綱を制定したことについて報告を受けた。
- 報告第 39 号 春日部市立小学校、中学校及び義務教育学校の学校運営協議会委員の任命に係る専決処理について
市内小・中・義務教育学校 1 校の学校運営協議会委員の任命について報告を受けた。
- 報告第 40 号 春日部市学校給食費の管理に関する条例施行規則の一部改正について
新型コロナウイルス感染症拡大などの影響により物価が高騰する中で安心安全な学校給食の提供と子育て世帯への経済的支援を図るため、本規則の一部を改正したことについて報告を受けた。
- 報告第 41 号 春日部市学校給食費無償相当額助成金交付要綱の制定について
報告第 40 号の経済的支援を実施するにあたり、食物アレルギー等により給食を食べない児童生徒の保護者に対しても経済的支援を図るため、本要綱を制定したことについて報告を受けた。
- 報告第 42 号 春日部市学校給食連絡協議会委員の委嘱について
委員の任期満了に伴う、委員の委嘱について報告を受けた。
- 報告第 43 号 春日部市視聴覚センター専門委員会委員の任命について
委員の任期満了に伴う、委員の任命について報告を受けた。
- 報告第 44 号 春日部市公民館運営審議会委員の任命に係る専決処理について
委員の任期満了に伴う、委員の委嘱について報告を受けた。
- 報告第 45 号 令和 5 年 6 月春日部市議会定例会について
令和 5 年 6 月定例市議会における教育委員会関係議案 5 件、11 人の議員からの一般質問について報告を受けた。

<7 月定例会>

- 報告第 46 号 春日部市立小学校、中学校及び義務教育学校の学校運営協議会委員の任命に係る専決処理について
市内小・中・義務教育学校 1 校の学校運営協議会委員の任命について報告を受けた。
- 報告第 47 号 春日部市立小学校、中学校及び義務教育学校児童・生徒大会派遣事業費補助金交付要綱の一部改正について
交付対象経費に変更があったことに伴い、これまでの要綱を廃止し、新たに本要綱を制定したことについて報告を受けた。
- 報告第 48 号 春日部市民間等プール利用補助事業実施要綱の制定について
WEB サイトにて割引価格の電子チケットを購入できる方式に変更することに伴い、新たに本要綱を制定したことについて報告を受けた。

- 報告第 49 号 春日部市民間等プール補助金交付要綱の制定について
報告第 48 号の実施に伴い補助金額を変更するため、新たに本要綱を制定したことについて報告を受けた。
- 協議第 2 号 令和 6 年度使用小学校用教科用図書について
第 2 回採択地区協議会に向けて、春日部市教育委員会として使用教科用図書の意向について協議した。

<8 月臨時会>

- 議案第 39 号 令和 6 年度使用小学校用教科用図書の採択について
第 21 採択地区教科用図書採択地区協議会において示された、令和 6 年度使用小学校用教科用図書選定結果を受けて、令和 6 年度使用小学校用教科用図書を採択することについて審議した。

<8 月定例会>

- 議案第 40 号 令和 5 年度教育委員会点検・評価報告書について
地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条第 1 項に基づき、令和 4 年度の教育委員会の事務の点検・評価を実施し、報告書としてまとめた「令和 5 年度教育委員会点検・評価報告書」について審議した。
- 議案第 41 号 執務室の所管換えについて
執務室の所管換えについて春日部市長より協議があったことに伴い、意見を付したうえで異議がない旨、回答することについて審議した。
- 議案第 42 号 春日部市民文化会館非構造部材（特定天井）等耐震対策工事請負契約の締結について
令和 5 年 9 月市議会定例会に上程する春日部市民文化会館非構造部材（特定天井）等耐震対策工事請負契約の締結について審議した。
- 議案第 43 号 春日部市社会教育委員の委嘱について
委員の欠員に伴う、委員の委嘱について審議した。
- 議案第 44 号 春日部市スポーツ推進委員の委嘱について
委員の補充に伴う、委員の委嘱について審議した。
- 議案第 45 号 令和 5 年度春日部市一般会計（教育費）補正予算について
令和 5 年 9 月市議会定例会に提案する令和 5 年度春日部市一般会計補正予算に教育費補正予算を要求することについて審議した。
- 報告第 50 号 春日部市教育委員会職員の人事に関する専決処理について
春日部市教育委員会職員の人事異動について報告を受けた。
- 報告第 51 号 春日部市元気アップ推進委員会要綱の制定について
第 3 条の組織に関する規定の変更に伴い、これまでの要綱を廃止し、新たに本要綱を制定したことについて報告を受けた。
- 報告第 52 号 春日部市文化財保存活用地域計画の認定について
文化財保護法第 183 条の 3 第 5 項の規定に基づき、文化庁長官より認定されたことについて報告を受けた。

<9 月定例会>

議案第 46 号 春日部市民文化会館条例施行規則の一部改正について

インボイス制度の導入に伴い、様式の一部を改正するため本規則を一部改正することについて審議した。

議案第 47 号 令和 6 年度当初春日部市立小学校、中学校及び義務教育学校教職員人事異動方針について

令和 6 年度当初春日部市立小・中学校等教職員人事異動の方針を定めることについて審議した。

議案第 48 号 令和 6 年度当初春日部市立小学校、中学校及び義務教育学校教職員人事異動方針細部事項について

令和 6 年度当初春日部市立小・中学校等教職員人事異動方針細部事項を定めることについて審議した。

報告第 53 号 令和 5 年 9 月春日部市議会定例会について

令和 5 年 9 月定例市議会における教育委員会関係議案 3 件、8 人の議員からの一般質問について報告を受けた。

<9 月臨時会>

報告第 54 号 県費負担教職員の人事に係る専決処理について

春日部市教育委員会会議規則第 18 条の規定により、会議を非公開とした。

<10 月定例会>

報告第 55 号 春日部市視聴覚センターの利用者範囲拡大等について

新庁舎移転により利用者の減少が想定されることに伴う、施設利用の運用の見直しについて報告を受けた。

<11 月定例会>

議案第 49 号 財産の取得の申出について

春日部市学校給食センターに設置する調理機器を取得するため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 28 条第 2 項の規定に基づき、春日部市長あて申出することについて審議した。

議案第 50 号 春日部市視聴覚センター条例の一部改正について

利用時間の規定等の改正に伴い、本条例を改正することについて審議した。

議案第 51 号 春日部市地区センター条例の制定について

春日部市地区センターを設置することに伴い、本条例を制定することについて審議した。

議案第 52 号 令和 5 年度春日部市一般会計（教育費）補正予算について

令和 5 年 12 月市議会定例会に提案する令和 5 年度春日部市一般会計補正予算に教育費補正予算を要求することについて審議した。

＜12月定例会＞

報告第56号 春日部市立小学校、中学校及び義務教育学校の学校薬剤師の委嘱に係る専決処理について

春日部市立小・中・義務教育学校1校の学校医を委嘱したことについて報告を受けた。

報告第57号 令和5年12月春日部市議会定例会について

令和5年12月定例会市議会における教育委員会関係議案5件、10人の議員からの一般質問について報告を受けた。

報告第58号 令和5年度春日部市一般会計（教育費）補正予算に係る専決処理について

令和5年12月市議会定例会に提案する令和5年度春日部市一般会計補正予算に教育費補正予算を要求したことについて報告を受けた。

報告第59号 春日部市学校給食費の管理に関する条例施行規則の一部改正について

物価が高騰する中、学校給食費を通じて子育て世帯への経済的支援を図るため、本規則の一部を改正することについて審議した。

報告第60号 春日部市学校給食費相当額助成金（追加分）交付要綱の制定について

報告第59号の経済的支援を実施するにあたり、食物アレルギー等により給食を食べない児童生徒の保護者に対しても経済的支援を図るため、本要綱を制定したことについて報告を受けた。

＜1月定例会＞

議案第1号 春日部市立小学校、中学校及び義務教育学校職員服務規程の一部改正について

埼玉県「職員の高齢者部分休業に関する条例」が施行されたことに伴い、本規則を一部改正することについて審議した。

＜2月定例会＞

議案第2号 財産の取得の申出について（小学校教師用指導書）

小学校教師用指導書を取得するため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第28条第2項の規定に基づき、春日部市長あて申出することについて審議した。

議案第3号 財産の取得の申出について（小学校教師用指導書）

小学校教師用指導書を取得するため、春日部市教育委員会教育長に対する事務委任規則第2条第1項第1号の規定に基づき、審議した。

議案第4号 財産の取得の申出について（小学校教師用指導書）

小学校教師用指導書を取得するため、春日部市教育委員会教育長に対する事務委任規則第2条第1項第1号の規定に基づき、審議した。

議案第5号 財産の取得の申出について（小学校教師用指導教材）

小学校教師用指導教材を取得するため、春日部市教育委員会教育長に対する事務委任規則第2条第1項第1号の規定に基づき、審議した。

- 議案第 6 号 春日部市特別職の給与に関する条例及び春日部市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部改正について
期末手当の規定の改正に伴い、本条例を改正することについて審議した。
- 議案第 7 号 春日部市民文化会館非構造部材（特定天井）等耐震対策工事請負変更契約の締結について
令和 6 年 3 月市議会定例会に上程する春日部市民文化会館非構造部材（特定天井）等耐震対策工事請負変更契約の締結について審議した。
- 議案第 8 号 令和 5 年度春日部市一般会計（教育費）補正予算について
令和 6 年 3 月定例市議会に提案する令和 5 年度春日部市一般会計予算に、教育費予算を要求することについて審議した。
- 議案第 9 号 令和 6 年度春日部市一般会計（教育費）予算について
令和 6 年 3 月定例市議会に提案する令和 6 年度春日部市一般会計予算に、教育費予算を要求することについて審議した。
- 報告第 1 号 春日部市準要保護就学援助臨時支援金支給事業実施要綱の廃止について
新型コロナウイルス感染症に関する臨時の支援措置として実施した事業について、新型コロナウイルスが 5 類に移行したことに伴い、本要綱を廃止することについて報告を受けた。
- 報告第 2 号 春日部市大槻文化交流センター条例の制定について
教育委員会が所掌する事務と関連する条項があるため報告を受けた。

<3 月定例会>

- 議案第 10 号 春日部市教育委員会事務局組織規則の一部改正について
事務局組織の変更に伴い、本規則の一部を改正することについて審議した。
- 議案第 11 号 春日部市教育委員会事務決裁規則の一部改正について
事務の所管変更に伴い、本規則の一部を改正することについて審議した。
- 議案第 12 号 春日部市教育委員会職員の勤務時間等に関する規程の一部改正について
地区センターの開所に伴い、本規程の一部を改正することについて審議した。
- 議案第 13 号 令和 6 年度春日部市教育行政の基本方針・重点施策について
令和 6 年度春日部市教育行政の基本方針・重点施策を定めることについて審議した。
- 議案第 14 号 春日部市教育委員会事務評価委員会委員の委嘱について
委員の任期満了に伴う、委員の委嘱について審議した。
- 議案第 15 号 行政財産の所管替えについて
コミュニティーセンターの廃止に伴う行政財産の所管替えについて春日部市長より協議があったことに伴い、異議がない旨、回答することについて審議した。

- 議案第 16 号 春日部市立小学校、中学校及び義務教育学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について
委員の欠員、変更に伴う、委員の委嘱について審議した。
- 議案第 17 号 春日部市立小学校、中学校及び義務教育学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例施行規則の一部改正について
売春防止法の改正に伴い、本規則の一部を改正することについて審議した。
- 議案第 18 号 春日部市立小学校、中学校及び義務教育学校の学校運営協議会委員の任命について
委員の任期満了に伴う、委員の任命について審議した。
- 議案第 19 号 春日部市文化財保護審議会委員の委嘱について
委員の任期満了に伴う、委員の任命について審議した。
- 議案第 20 号 春日部市スポーツ推進委員の委嘱について
委員の任期満了に伴う、委員の任命について審議した。
- 議案第 21 号 春日部市教育委員会職員の人事異動について
春日部市教育委員会会議規則第 18 条の規定により、会議を非公開とした。
- 報告第 3 号 春日部市学校規模適正化計画検討委員会要綱の制定について
春日部市学校規模適正化計画検討委員会の設置に伴い、本要綱を制定したことについて報告を受けた。
- 報告第 4 号 春日部市学校体育館空調設備利用検討委員会要綱の制定について
春日部市学校体育館空調設備利用検討委員会の設置に伴い、新たに本要綱を制定したことについて報告を受けた。
- 報告第 5 号 令和 5 年度春日部市立小・中・義務教育学校教職員の人事評価について
春日部市教育委員会会議規則第 18 条の規定により、会議を非公開とした。
- 報告第 6 号 令和 6 年度当初教職員の人事異動について
春日部市教育委員会会議規則第 18 条の規定により、会議を非公開とした。
- 報告第 7 号 令和 5 年度活躍する春日部の子供たちについて
令和 5 年度に全国大会に出場した春日部市の小・中・義務教育学校の児童・生徒について報告を受けた。
- 報告第 8 号 春日部市学校給食費の管理に関する条例施行規則の一部改正について
食材料の物価が高騰する中、安心安全な学校給食を安定的に提供するため、本規則の一部を改正したことについて報告を受けた。
- 報告第 9 号 第 2 次春日部市子ども読書活動推進計画の策定について
第 2 次春日部市子ども読書活動推進計画について、策定経過の報告を受けた。
- 報告第 10 号 令和 6 年 3 月春日部市議会定例会について
令和 6 年 3 月定例市議会における教育委員会関係議案 7 件、9 人の議員からの一般質問について報告を受けた。

NO	議 案 内 容	件数
1	教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針に関すること	5 件
2	教育委員会規則その他教育委員会の定める規程の制定又は改廃に関すること	6 件
3	教育委員会事務局及び教育委員会の所管に属する教育機関の職員の任免その他の人事に関すること	1 件
4	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関すること	1 件
5	予算その他議会の議決を経るべき議案の原案を決定すること	19 件
6	人事の一般方針を定め、懲戒を行うこと	2 件
7	法令又は条例に定めのある附属機関の委員を委嘱すること	13 件
8	文化財の指定及び解除に関すること	0 件
9	その他の議案	0 件
合 計		47 件

評 価

議案等については、法律及び規則に則って適切に付議され、遺漏なく審議を行うことができた。教育長専決処理された案件についても、的確に報告されていた。また、本年度においては定例会での協議案件が2件あり、活発な意見交換が行われた。今後も、勉強会を活用して付議前の案件の論点整理を行うとともに、教育委員会委員自らの問題提起や自己評価も合わせ、定例会での審議を、より一層充実していきたい。

議案等の公開の可否については、春日部市教育委員会会議規則に基づき適切に決定することができた。教育委員会が管理・執行する事務について、自ら点検及び評価を行うことにより、教育委員会の活動の課題や事務事業の詳細を把握することができ、有意義であった。

点検・評価を行った結果を踏まえ、より一層市民に対する説明責任を果たしつつ、今後の教育委員会委員としての活動や教育委員会の運営に生かしていきたい。

教育を取り巻く環境の変化に対応できるよう、情報を収集するとともに、教育委員会委員としての重責を認識し、常に問題意識を持って活動していきたい。

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

地教行法第 25 条及び春日部市教育委員会教育長に対する事務委任規則第 2 条の規定により教育長に委任する事務について、第 2 次春日部市総合振興計画後期基本計画の体系に従って評価を行うこととした。

第 2 次春日部市総合振興計画後期基本計画では、本市の将来像「つながる にぎわう すまいるシティ 春日部」を実現するために 7 つの「まちづくりの基本目標」が定められ、目標ごとに各施策が位置づけられている。

本報告書では、基本目標 1 の「子育て・教育」を構成する 4 の施策と、基本目標 3 の「市民参加・文化・スポーツ」を構成する 6 つの施策を合わせた、10 の施策について、「令和 5 年度の主な取組」と「今後の課題」に整理し、評価を行った。また、各施策に体系づけられた事務事業の令和 5 年度実績を施策ごとに掲載した。

【第 2 次春日部市総合振興計画 後期基本計画の施策体系（抜粋）】

基本目標	政 策	施 策	掲 載 ページ
基本目標 1 子どもが幸せに育ち、生きる力をはぐくむまち 【子育て・教育】	1-1 安心して子どもを産み、楽しく子育てできるまちをつくる	1-1-1 安心して子育てできる切れ目のない支援	17
	1-2 知・徳・体のバランスがとれた子どもを育てるまちをつくる	1-2-1 「生きる力」を育む学校づくりの推進	19
		1-2-2 一人ひとりを大切にした教育の推進	25
		1-2-3 充実した学校環境づくりの推進	28
基本目標 3 市民が主役となって活躍し、生きがいを持てるまち 【市民参加・文化・スポーツ】	3-2 一人ひとりの個性と人権が尊重されるまちをつくる	3-2-1 人権を尊重するまちづくりの推進	37
	3-3 だれもが学べ、地域に生かせるまちをつくる	3-3-1 社会教育の充実	39
		3-3-2 生涯学習の振興	49
	3-4 文化・芸術や郷土の歴史を大切にすまちをつくる	3-4-1 文化・芸術の創造と振興	51
		3-4-2 郷土の歴史と文化遺産の保存と活用	53
3-5 スポーツ・レクリエーションを楽しめるまちをつくる	3-5-1 スポーツ・レクリエーション活動の推進	56	

基本目標	1 子どもが幸せに育ち、生きる力をはぐくむまち
政策	1. 安心して子どもを産み、楽しく子育てできるまちをつくる
施策	1. 安心して子育てできる切れ目のない支援

令和5年度の主な取組

- 国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して、学校給食費無償及び物価高騰分支援を実施した。また、アレルギー等を理由に学校給食が食べられない児童生徒の保護者に対し無償期間中の学校給食費相当額を助成した。
- 学校給食費の経済的負担が家計に与える影響の大きい多子世帯に対して、学校給食費の全額助成を実施した。

今後の課題

- 原油価格の高騰や円安の進行、物流コストの上昇などの影響により、学校給食における食材料費は高止まりが続いている。この物価高騰は、各家庭の家計にも影響を及ぼしており名目賃金は上昇しているものの物価上昇に追いつかず、実質賃金が前年比で24ヶ月マイナス傾向（厚生労働省 毎月勤労統計調査 令和6年3月確報）が続いている。今後も安定的な給食運営に向けて、子育て家庭の実情や市の財政状況などを考慮した対応が必要となる。

評価

物価高騰が続く中、令和5年度時点における子育て家庭への支援の必要性や経済状況の把握に基づく学校給食費の無償及び物価高騰分支援を実施したことは評価できる。

また、学校給食の無償となる期間においてアレルギー等を理由に学校給食を食べられない児童生徒に対しても学校給食費を助成したことは公平性の観点から評価できる。

今後も、食材料費の物価高騰の状況、実質所得などの経済状況、市の財政状況など、総合的な判断に基づき、公平かつ適切な施策の推進に努めていただきたい。

※各事務事業の実績

事務事業	令和5年度実績 (事業費・事業の内容)	担当課								
学校給食費 支援事業 【新規】	221,304千円 ①令和5年9月、10月、令和6年3月の3か月学校給食費を無償とした。 ・延べ無償期別数：37,062件 ②アレルギー等を理由に学校給食を食べることができない児童生徒の保護者に対し、無償期間中の学校給食費相当額を助成した。 ・助成件数（9月10月期）：141件 ・助成件数（3月期）：87件 ③令和5年9月から令和6年3月まで学校給食費の物価高騰分（1食あたり30円）支援を実施した。 ・延べ助成食数：1,733,399食	学校給食課								
学校給食費 助成事業 【新規】	22,473千円 小・中・義務教育学校に在籍する児童または生徒を3人以上養育している保護者に対し、第3子以降の学校給食費を全額助成した。 対象児童生徒数（保護者数）：646人（585人） 【第2次総合振興計画後期基本計画の成果指標における目標及び経過】 <table border="1" data-bbox="392 904 1254 1061"> <thead> <tr> <th>施策の成果指標</th> <th>令和4年度末 実績</th> <th>令和5年度末 実績</th> <th>基本計画 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>助成金の申請率</td> <td>97.2%</td> <td>99.4%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>	施策の成果指標	令和4年度末 実績	令和5年度末 実績	基本計画 目標値	助成金の申請率	97.2%	99.4%	100%	学校給食課
施策の成果指標	令和4年度末 実績	令和5年度末 実績	基本計画 目標値							
助成金の申請率	97.2%	99.4%	100%							

基本目標	1 子どもが幸せに育ち、生きる力をはぐくむまち
政策	2. 知・徳・体のバランスがとれた子どもを育てるまちをつくる
施策	1. 「生きる力」を育む学校づくりの推進

令和5年度の主な取組

- 「伝えあい 学びあい 育ちあい 思いあいがうれしい教室 うれしい学校」をめざした「春日部メソッド」のさらなる浸透を図るため、指導主事による学校訪問において、その理念が指導に反映されているかという視点で授業者に指導を行った。
- 教育研究員を中心に、各学校の教育実践を一層充実させるための基本計画「かすかべっ子 はぐくみプラン」の研究を深め、事例収集を引き続き行った。
- 学習者用端末を活用した事例等、各校における優れた実践事例とその成果を「春日部メソッド実践発表会」で実践者自身が発表し、広く市内に、有効な実践方法について周知した。
- GTEC（スコア型テスト）を令和5年度から実施し、市内中・義務教育学校における英語力向上に向けた取組の実践を開始した。
- 研究委嘱の推進として、市内の22校が研究委嘱を受け、学習指導法等を研究し、児童生徒の確かな学力と、主体的な態度の育成を目指した。研究発表会は参集型で開催し、市外の学校にもその成果を発表するとともに充実した協議も行われた。また、粕壁小学校では、文部科学省教育課程特例校の指定15年目となり、英語科についてさらなる研究を進めてきた。
- ALTの年間を通じた配置により、授業のみならず、休み時間や行事など生活の場においても英語によるコミュニケーションを図ることができた。
- 「普通学級支援助手」を全小・中・義務教育学校に、「特別支援学級助手」を全小・義務教育学校に配置し、個に応じた、きめ細かな支援を行い、各学校の教育活動の充実を図った。
- 児童生徒が健康で安全な生活を営めるよう自転車のマナー向上、交通事故防止、不審者対策、熱中症予防、食物アレルギー対策、アドレナリン自己注射薬・AEDの使用方法などについて、市内小・中・義務教育学校へ周知徹底を図るとともに、各学校が実施する取組を支援した。
- 「春日部市立中学校等部活動のあり方に関する方針」の定着に向けて「部活動の意義」、「適切な運営のための体制整備」、「適切な休養日の設定」等について徹底を図った。
- 部活動に対する指導体制の充実及び、教職員の負担軽減を図り、部活動指導員を3名から7名へ増員し配置した。
- 「図書ボランティア」、「安心安全ボランティア」などの「学校応援団」をはじめとした地域人材など、地域の教育力を積極的に活用した教育活動を推進した。また「凧づくり」や「神楽」など地域の方から伝統文化を学んだり、地域の行事に児童生徒が参加したりと地域に根差した学校づくりを各校で図った。
- 開かれた学校づくりに向けて令和5年度、市内全小・中・義務教育学校に学校運営協議会が設置され、地域と一体となった教育活動が進められた。
- 江戸川小中学校、藤塚小学校において、特色ある教育活動として、水泳授業を地域のスイミングスクールと連携して実施し、専門的な指導により泳力の向上を図った。

今後の課題

- 学習指導要領の趣旨を理解し、今後も資質・能力を身に付けられるように指導していく必要がある。同時に全ての教科における基礎的・基本的な知識・技能の習得と、その活用による思考力・判断力・表現力などの育成を目指した指導法の工夫・改善について、引き続き支援を行うとともに、「かすかべっ子 はぐくみプラン」を各小・中・義務教育学校に浸透させ、本市における教育全体の充実・発展を図っていく必要がある。
- コロナ禍後の教育活動が、各校において展開された。今後も、感染症拡大防止に努めながら、児童生徒が心身ともに健康で、自ら学び社会の変化に主体的に対応できる能力の育成を目指し、各種体験活動の一層の充実を図っていく必要がある。
- 引き続き、学校行事の精選・見直し等を行うとともに、1人1台端末等のICT環境を活用した個別最適な新たな学習指導の在り方を検討し、令和の日本型学校教育を推進していく必要がある。

評価

各学校と連携し、コロナ禍後の教育活動について感染症対策を継続しながら、計画的に学校訪問・校内研修における指導を行い、春日部メソッドの定着及び充実に努めたことは評価できる。また、市の研究委嘱により、先行的な「個別最適な学び」と「協働的な学び」の研究と実践を進められたことは評価できる。

今後も、「個別最適な学び」と「協働的な学び」により、令和の日本型学校教育の構築を目指し、児童生徒一人ひとりが「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」などを身につけ、全校に設置された学校運営協議会を活用し、地域と一体となった特色ある教育活動を展開し、魅力ある学校づくりを推進している各学校への指導と支援のさらなる充実に努めてほしい。市内の全ての小・中・義務教育学校において、地域の教育力を生かしながら魅力ある学校づくりのための特色ある教育活動が進められており評価できる。

※各事務事業の実績

事務事業	令和5年度実績 (事業費・事業の内容)	担当課
教育委員会 運営事務	<p>3,389千円</p> <p>以下の取組などにより、教育委員会の円滑な運営と教育委員活動の推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会会議は定例会12回、臨時会2回の計14回を開催（議案47件、報告45件、協議2件） ・市長との協議・調整を行う総合教育会議（年3回）での審議をより一層充実させるため、各定例教育委員会終了後に、各施策の説明や行事等の進捗状況の報告、意見交換を行う「教育委員会委員と事務局の勉強会」を実施し、教育課題等についての認識の共有化を図った。 ・教育委員会行政視察は、茨城県神栖市のはさきマリンプールを訪問し、学校の水泳授業を実施する公営プールの整備・利用状況について学んだ。 ・教育委員の学校及び教育施設訪問については、定期的には実施するのではなく、話題となる施設が整備された際に、適宜実施する方向性へ切り替え、令和5年度は実施しなかった。 ・事務評価委員会会議3回開催、委員は3名 	教育総務課
教育総務事務	<p>11,828千円</p> <p>教育委員会の重要な施策の総合調整、組織、広報、職員の人事、服務及び研修、庁用備品等の管理及び保管に関すること等の事務を行い、教育委員会事務局の業務運営の円滑・効率化に努めた。</p> <p>春日部市教育行政の基本を示した「春日部市の教育」を編さんし、発行した。また発行にあたっては、前年に引き続いて紙での印刷は必要最小限の部数（80冊）のみとし、その他はホームページ上で公開するとともに、電子データでの配布とすることにより、資源の節約及び経費の削減に努めた。</p> <p>教育委員会表彰制度においては、令和5年度は57名、4団体を表彰した。</p>	教育総務課
教育センター 管理事務	<p>47,143千円</p> <p>市民の生涯学習の推進及び普及を図るため、教育相談センター視聴覚センター、郷土資料館の複合施設である教育センターの維持管理を行うものである。</p> <p>経年劣化により修繕箇所が増加しているが、令和5年度は、教育センター自動ドア駆動装置交換修繕（755千円）外16件の修繕を行い、不良箇所の早期発見、早期対応に努めた。</p> <p>また、清掃業務委託、建築物環境衛生管理業務委託外16件の委託等を行い、施設・設備の良好な状態の維持を図った。</p> <p>このほか、昼休み中の事務室の照明消灯、2基あるエレベーターのうち、1基を停止等により節電に取り組んだ。</p>	教育総務課

※各事務事業の実績

事務事業	令和5年度実績 (事業費・事業の内容)	担当課												
学校教育 支援事業	189,687千円 市教委・事務所教育支援・学力向上推進担当学校訪問（各校1回）、指導主事等による学校訪問（随時）、初任者・5年・中堅教諭等資質向上研修、各種研修、教育研究員研究協議会、体力向上推進事業、人権教育指導資料作成、生徒指導特別委員会、就学支援委員会、特別支援教育推進事業、指導担当・教職員担当事務、学校教育だよりの発行（年2回）、社会科副読本の編集・発行、スーパー元気・さわやかキャンペーン事業、協議会等運営事務等を実施した。 少人数指導など、児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導の充実や学校のニーズに応じるための相談員・支援員等の配置の拡充、教員研修の充実による教職員の資質向上、教育課題の解決、教育内容の充実を通して、魅力と信頼に満ちた特色ある学校づくりの推進を図ることができた。 【第2次総合振興計画後期基本計画の成果指標における目標及び経過】 <table border="1" data-bbox="391 795 1252 1010"> <thead> <tr> <th>施策の成果指標</th> <th>令和4年度末 実績</th> <th>令和5年度末 実績</th> <th>基本計画 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「伝えあい 学びあい」に取り組む授業の普及する割合 (上段:小学校 義務教育学校前期課程、 下段:中学校 義務教育学校後期課程)</td> <td>81.5% 74.5%</td> <td>79.5% 77.8%</td> <td>80.8% 78.5%</td> </tr> </tbody> </table>	施策の成果指標	令和4年度末 実績	令和5年度末 実績	基本計画 目標値	「伝えあい 学びあい」に取り組む授業の普及する割合 (上段:小学校 義務教育学校前期課程、 下段:中学校 義務教育学校後期課程)	81.5% 74.5%	79.5% 77.8%	80.8% 78.5%	指導課				
施策の成果指標	令和4年度末 実績	令和5年度末 実績	基本計画 目標値											
「伝えあい 学びあい」に取り組む授業の普及する割合 (上段:小学校 義務教育学校前期課程、 下段:中学校 義務教育学校後期課程)	81.5% 74.5%	79.5% 77.8%	80.8% 78.5%											
各種大会 児童・生徒 派遣補助金	3,898千円 優秀な成績で、春日部市や地区の代表、県の代表として関東大会や全国大会に出場する際の経費の一部を補助することにより、各学校における各種スポーツ及び文化活動の振興を図ることができた。 【関東大会及び全国大会への出場件数】 <table border="1" data-bbox="391 1377 1252 1536"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>関東大会</td> <td>9件</td> <td>12件</td> <td>13件</td> </tr> <tr> <td>全国大会</td> <td>6件</td> <td>8件</td> <td>9件</td> </tr> </tbody> </table>		令和3年度	令和4年度	令和5年度	関東大会	9件	12件	13件	全国大会	6件	8件	9件	指導課
	令和3年度	令和4年度	令和5年度											
関東大会	9件	12件	13件											
全国大会	6件	8件	9件											

※各事務事業の実績

事務事業	令和5年度実績 (事業費・事業の内容)	担当課								
英語指導助手 招致事業	<p>62,559千円</p> <p>英語指導助手を市内中学校及び義務教育学校に各1名（大規模校には2名）配置し、小学校へも計画的に訪問した。また、小学校専属で訪問するALTを3名配置した。英語指導助手は、小・中・義務教育学校の英語の授業における発音指導、会話練習、国際理解活動の授業における会話練習等を支援した。また、児童生徒の英語によるコミュニケーション能力の育成を図ることができた。市主催の国際理解活動は参集型を再開し、家族みんなで国際交流に親しむ取組となった。</p> <p>【第2次総合振興計画後期基本計画の成果指標における目標及び経過】</p> <table border="1" data-bbox="392 640 1254 853"> <thead> <tr> <th>施策の成果指標</th> <th>令和4年度末 実績</th> <th>令和5年度末 実績</th> <th>基本計画 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ALT（英語指導助手）を活用した授業数の割合 (上段:小学校 義務教育学校前期課程、 下段:中学校 義務教育学校後期課程)</td> <td>42.6% 22.2%</td> <td>59.9% 45.9%</td> <td>41.0% 31.0%</td> </tr> </tbody> </table>	施策の成果指標	令和4年度末 実績	令和5年度末 実績	基本計画 目標値	ALT（英語指導助手）を活用した授業数の割合 (上段:小学校 義務教育学校前期課程、 下段:中学校 義務教育学校後期課程)	42.6% 22.2%	59.9% 45.9%	41.0% 31.0%	指導課
施策の成果指標	令和4年度末 実績	令和5年度末 実績	基本計画 目標値							
ALT（英語指導助手）を活用した授業数の割合 (上段:小学校 義務教育学校前期課程、 下段:中学校 義務教育学校後期課程)	42.6% 22.2%	59.9% 45.9%	41.0% 31.0%							
市教育研究会 補助金	<p>503千円</p> <p>教職員の資質向上を目的に組織された春日部市教育研究会に対して、各教科等の部会での授業研究会や研修会等の活動に補助を行った。 コロナ禍を経て、各種行事の実施方法が精選され、オンラインなどの新たな方法も取り入れながら魅力ある教育活動、魅力ある学校づくりを支援し、研究会の充実・発展、教職員の資質向上を図ることができた。</p>	指導課								
保健衛生事務	<p>82,399千円</p> <p>学校保健安全法に定められた児童生徒・教職員の健康衛生管理と日本スポーツ振興センターの保険給付事務を行った。 児童生徒健康診断4～6月（全児童生徒対象） 教職員健康診断7月（全教職員対象）等 災害共済給付件数： 1,781件（令和4年：1,805件）</p> <p>医療関係機関との連携を密にし、児童生徒、教職員の健康増進を図るとともに、保険給付等の円滑な執行を図ることができた。</p>	指導課								

※各事務事業の実績

事務事業	令和5年度実績 (事業費・事業の内容)	担当課																												
<p>特色ある教育 推進事業</p>	<p>23,792千円</p> <p>春日部市教育委員会の研究委嘱校として、市内小・中・義務教育学校22校に委嘱した。</p> <p>小学校に小学校英語指導助手を派遣し、授業の一層のレベルアップを図り、外国語活動や英語教育の充実を図った。夏期と秋期には、ALTと児童生徒が英会話を楽しみ、異文化を知るための「カスカベ・インターナショナル・フレンドシップ・デイ」を開催した。</p> <p>市内硬筆展、市内科学展、市内書きぞめ展は、オンラインによる開催とし様々な形態で児童生徒の作品を多くの人々に紹介するよう検討していく。今後も、引き続き、地域人材活用事業として、音楽会や発表会での楽器運搬料の補助を行い、各学校の地域に根ざした学校づくりを支援していく。</p> <p>【各種展覧会】</p> <table border="1" data-bbox="391 797 1252 1061"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市内硬筆展</td> <td>オンライン開催</td> <td>オンライン開催</td> <td>オンライン開催</td> </tr> <tr> <td>市内科学展</td> <td>中止</td> <td>中止</td> <td>オンライン開催</td> </tr> <tr> <td>市内美術展</td> <td>中止</td> <td>オンライン開催</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>市内書きぞめ展</td> <td>オンライン開催</td> <td>オンライン開催</td> <td>オンライン開催</td> </tr> </tbody> </table> <p>【春日部市教育委員会の研究委嘱校数】</p> <table border="1" data-bbox="391 1167 1252 1272"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教科等研究委嘱校</td> <td>23校</td> <td>23校</td> <td>22校</td> </tr> </tbody> </table>		令和3年度	令和4年度	令和5年度	市内硬筆展	オンライン開催	オンライン開催	オンライン開催	市内科学展	中止	中止	オンライン開催	市内美術展	中止	オンライン開催	中止	市内書きぞめ展	オンライン開催	オンライン開催	オンライン開催		令和3年度	令和4年度	令和5年度	教科等研究委嘱校	23校	23校	22校	<p>指導課</p>
	令和3年度	令和4年度	令和5年度																											
市内硬筆展	オンライン開催	オンライン開催	オンライン開催																											
市内科学展	中止	中止	オンライン開催																											
市内美術展	中止	オンライン開催	中止																											
市内書きぞめ展	オンライン開催	オンライン開催	オンライン開催																											
	令和3年度	令和4年度	令和5年度																											
教科等研究委嘱校	23校	23校	22校																											
<p>活躍する 春日部の 子どもたち PR活動</p>	<p>0千円</p> <p>教育委員会ホームページに、活躍する市内の児童生徒及び教職員の写真などを掲示し、広く春日部市民に広報することで、各学校の特色ある学校づくりを支援した。</p> <p>主な掲示内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の学習の様子 ・学校行事の様子 ・各学校の研究発表の様子 ・各種大会で活躍する児童生徒の様子 ・その他、各学校の教育活動の様子 	<p>指導課</p>																												

基本目標	1 子どもが幸せに育ち、生きる力をはぐくむまち
政策	2. 知・徳・体のバランスがとれた子どもを育てるまちをつくる
施策	2. 一人ひとりを大切にした教育の推進

令和5年度の主な取組

- 教育相談センターに臨床心理士、学校心理士、スクールソーシャルワーカー、相談員を配置するなど、相談体制の充実を図っている。必要に応じて、関係各課、関係機関と連携を図り、適切な支援につなげるようにしている。また、各中・義務教育学校においてもさわやか相談員及び地域教育相談員を配置し、一人ひとりに寄り添った相談活動を行っている。
- ノーマライゼーションの理念に基づく教育の推進のため、特別な支援が必要な児童生徒に対し、適切な支援を行うための「巡回相談」や「支援籍学習」等を実施した。また、「就学支援委員会」の開催、「特別支援教育推進協議会」の運営など、児童生徒一人ひとりのニーズに応じた、きめ細かな教育の推進を図った。医療的ケア児に対する支援については、関係機関と連携を図りながら実施している。
- 「春日部市いじめ防止条例」に定められている、いじめの防止等のための対策を推進するために「春日部市いじめ問題対策連絡協議会」を開催し、学校、関係機関等が連携し情報交換を行った。さらに、「春日部市いじめ問題対策調査委員会」を開催し、専門的な見地から意見を伺った。
- いじめの早期発見、解消に向け、保護者、地域の方々の協力を得ながら、市内小・中・義務教育学校で「スーパー元気・さわやかキャンペーン」を行い、学校・家庭・地域が一体となっていじめを生まない土壌づくりをめざした。
- いじめや不登校など、学校生活の不安や悩みの解消に向け、臨床心理士や学校心理士などの専門家を含む「こころのサポートチーム」を組織し、学校訪問を実施するなど、相談体制を拡充し、問題の未然防止や早期発見を図った。
- 不登校に悩む児童生徒やその保護者の一助となることを目的に「不登校を考えるシンポジウム」を開催した。
- 登校支援指導教室「ステップ教室」、適応指導教室「そよかぜ」、「すくすく」において不登校の児童生徒への支援を行った。
- 特別な配慮を要する児童生徒への理解を深め、適切な指導・支援ができるよう教職員の研修を実施した。
- ヤングケアラーに関する理解及び適切な対応に向けて、福祉部・学校職員との合同研修会に参加し、今後の連携促進を図った。
- 学校における人権教育について、教職員が正しい知識と理解にもとづき指導できるように、教職経験年数が少ない教職員を中心に、人権教育研修会を行った。

今後の課題

- 教育相談センター及び各学校、医療、福祉との連携を強化し、一人ひとりの状況に応じた相談体制のさらなる充実を図る必要がある。
- SNSによる悪口等のいじめが少なからず起きている。周囲が気づきにくいこともあるため、学校での啓発教室の実施やネット利用標準ルール等の周知活動を支援するとともに、家庭や地域と連携し早期発見・早期対応できる組織体制を整える必要がある。
- 不登校児童生徒の出現率が小学生、中学生ともに増加の傾向にあるため、これまで以上に児童生徒一人ひとりに寄り添ったきめ細かな指導を充実させていく必要がある。

評価

本市では、教育相談センターに専門的な資格を持つ心理士や相談員を配置するなどして、相談体制の拡充や特別支援教育の充実を図り、児童生徒一人ひとりの状況に応じたきめ細かな対応を進めていることは評価できる。

特別支援学級が全校で設置され、「多様な学びの場」の充実が図られたことは評価できる。

「こころのサポートチーム」による学校訪問も年々回数を増やし、いじめ・不登校等の解消のための支援が進められたこと、「春日部市いじめ問題対策連絡協議会」の取組の充実が図られ、いじめの防止等のための具体的な取組が進んでいることなど、それぞれの課題に応じた施策を講じ成果をあげたことは評価できる。

今後も、児童生徒それぞれの状況に応じたきめ細かな対応を継続し、いじめ・不登校問題の解消・未然防止や、適切な就学支援に努め、一人ひとりを大切にした教育をさらに推進するとともに豊かな心情と実践力の育成を目指した心の教育を通して、人間性や社会性のさらなる育成に努めていただきたい。

※各事務事業の実績

事務事業	令和5年度実績 (事業費・事業の内容)	担当課																						
いじめ防止 対策推進事業	<p>102千円</p> <p>令和5年10月・令和6年2月に「春日部市いじめ問題対策連絡協議会」を開催し、青少年関係者、関係機関、関係各課等から、いじめの防止等のための対策及び情報交換のための会議を行った。</p> <p>さらに、令和6年3月には、学識経験者、弁護士、医師を委員とする「春日部市いじめ問題対策調査委員会」を開催し、いじめの防止等のための対策について専門的な意見をまとめ、市として、今後の児童生徒の取組や保護者・地域との連携について、協議した。</p> <p>【いじめ認知件数】</p> <table border="1" data-bbox="391 640 1252 904"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">いじめ認知件数 (解消率)</td> <td>小学校 義務教育学校前期課程</td> <td>93件 (75.3%)</td> <td>92件 (78.3%)</td> </tr> <tr> <td>中学校 義務教育学校後期課程</td> <td>37件 (73.0%)</td> <td>49件 (87.8%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※いじめの半数以上が「冷やかし・悪口」</p>			令和4年度	令和5年度	いじめ認知件数 (解消率)	小学校 義務教育学校前期課程	93件 (75.3%)	92件 (78.3%)	中学校 義務教育学校後期課程	37件 (73.0%)	49件 (87.8%)	指導課											
		令和4年度	令和5年度																					
いじめ認知件数 (解消率)	小学校 義務教育学校前期課程	93件 (75.3%)	92件 (78.3%)																					
	中学校 義務教育学校後期課程	37件 (73.0%)	49件 (87.8%)																					
教育相談 センター 運営事業	<p>9,624千円</p> <p>教育相談センター、大沼分館、庄和分館の3館において、市民に開かれた相談機関として、教育相談活動や不登校児童生徒の自立を支援する活動を行った。相談は面接や電話によるもので、のべ回数は3館合計で4,351回であった。相談内容は、性格行動に関すること、次いで養育・家庭問題に関することが多く、一人の相談者に継続して対応するケースも多かった。</p> <p>適応指導教室、登校支援指導教室には学校に行きたいが、心理的な理由により学校に行くことができない不登校や学校だけの関わりでは難しい長期化した不登校、社会性が不足し、小集団活動が必要とされる児童生徒等が通室した。この3教室においても、「春日部メソッド」の推進（伝えあい 学びあい）を目指し、安心して生活・学習ができる居場所であること、人とのつながりを通して意欲や思いやりを育むことを重視し、学習や制作、レクリエーションなど様々な活動を行った。適応指導教室通室生徒数は、大沼分館9名、庄和分館13名で、約5割の生徒が、学校への完全復帰または部分復帰した。</p> <p>令和4年度と令和5年度の不登校の出現率を比較すると、中学校は5.56%から7.31%、小学校は1.45%から1.76%で増加となった。今後も不登校については、関係機関等との連携も図りながら、未然防止、解消に努める。</p> <p>【第2次総合振興計画後期基本計画の成果指標における目標及び経過】</p> <table border="1" data-bbox="391 1742 1252 1906"> <thead> <tr> <th colspan="2">施策の成果指標</th> <th>令和4年度末 実績</th> <th>令和5年度末 実績</th> <th>基本計画 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">不登校児童生徒の出現率</td> <td>小学校 義務教育学校前期課程</td> <td>1.45%</td> <td>1.76%</td> <td>0.93%</td> </tr> <tr> <td>中学校 義務教育学校後期課程</td> <td>5.56%</td> <td>7.31%</td> <td>4.64%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【不登校児童生徒が学校内外の機関で相談・指導を受けた割合】</p> <table border="1" data-bbox="391 1955 1252 2063"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小・中・義務教育学校</td> <td>52.3%</td> <td>54.6%</td> <td>48.5%</td> </tr> </tbody> </table>	施策の成果指標		令和4年度末 実績	令和5年度末 実績	基本計画 目標値	不登校児童生徒の出現率	小学校 義務教育学校前期課程	1.45%	1.76%	0.93%	中学校 義務教育学校後期課程	5.56%	7.31%	4.64%		令和3年度	令和4年度	令和5年度	小・中・義務教育学校	52.3%	54.6%	48.5%	指導課
施策の成果指標		令和4年度末 実績	令和5年度末 実績	基本計画 目標値																				
不登校児童生徒の出現率	小学校 義務教育学校前期課程	1.45%	1.76%	0.93%																				
	中学校 義務教育学校後期課程	5.56%	7.31%	4.64%																				
	令和3年度	令和4年度	令和5年度																					
小・中・義務教育学校	52.3%	54.6%	48.5%																					

※各事務事業の実績

事務事業	令和5年度実績 (事業費・事業の内容)	担当課											
特別支援教育 推進事業	2,580千円 発達の課題を抱えている児童を客観的に確認するとともに、知能と学力の相関関係を見て指導に生かすことを目的に、教研式知能検査を実施した。また、発達障害の児童生徒を支援するため、特別支援教育推進チーム会議を実施し、サポート体制を構築した。	指導課											
こころの サポート 推進事業	2,712千円 学校訪問で、いじめ・不登校を中心に気になる児童生徒について各学校と情報交換を行い、一人ひとりの児童生徒の実態を把握した。また、いじめ・不登校に発展する可能性がある発達障害のある児童生徒について、臨床心理士、学校心理士が様子を観察し、適切な指導方法を助言することで二次障害の未然防止を図った。また、各学校と情報交換を行い、一人ひとりの児童生徒の実態を把握した。本年度は、各学校2回の定期訪問と、それ以外にも依頼を受けて随時訪問を行ったため、学校と十分な協議がなされた。また、福祉的な面から家庭の支援を必要とするケースについて、スクール・ソーシャル・ワーカーと学校が連携を図り、今後の支援の方針を決めていった。専門的な立場からの支援により、学校が安心して問題に取り組めるという意見があった。 【こころのサポートチーム学校訪問回数】 <table border="1" data-bbox="391 1061 1252 1220"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">こころのサポート チーム学校訪問 (延べ回数)</td> <td>小学校 義務教育学校前期課程</td> <td>128回</td> <td>91回</td> </tr> <tr> <td>中学校 義務教育学校後期課程</td> <td>126回</td> <td>109回</td> </tr> </tbody> </table>			令和4年度	令和5年度	こころのサポート チーム学校訪問 (延べ回数)	小学校 義務教育学校前期課程	128回	91回	中学校 義務教育学校後期課程	126回	109回	指導課
		令和4年度	令和5年度										
こころのサポート チーム学校訪問 (延べ回数)	小学校 義務教育学校前期課程	128回	91回										
	中学校 義務教育学校後期課程	126回	109回										

基本目標	1 子どもが幸せに育ち、生きる力をはぐくむまち
政策	2. 知・徳・体のバランスがとれた子どもを育てるまちをつくる
施策	3. 充実した学校環境づくりの推進

令和5年度の主な取組

- 学校施設の修繕をスムーズかつ効率的に実施していくため、学校から不具合の概要、写真や位置の情報をメールで受け取り、このデータを元に一元管理を行った。
- 消耗品や原材料の購入で対応可能な簡易な修繕については、教育施設課職員が迅速に対応した。
- 小学校の施設維持・管理のため、日常的な使用に不具合のある箇所における修繕に加え、老朽化により劣化が特に著しい、1校で教室内修繕、2校で防水・塗裝修繕、2校で消防設備修繕を実施した。
- 平成28年度にPFI事業により全学校33校（東中学校を除く）の普通教室等に設置したエアコンについて、フィルター清掃や機器の定期点検等の維持管理を行った。
- 学校環境の改善を図るため、小学校の3校で校舎トイレ改修を実施した。
また、小学校1校の体育館について、学校環境の改善及び地域住民の避難場所としての役割を果たすため、地震発生時に落下するおそれのある外壁等の耐震対策、エアコン設置を実施した。
- 中学校の施設維持・管理のため、日常的な使用に不具合のある箇所における修繕に加え、老朽化により劣化が特に著しい、4校で消防設備修繕、2校で防水・塗裝修繕、3校で給水設備修繕を実施した。
- 学校環境の改善を図り、学校等の施設に求められる機能・性能を確保し長寿命化や計画的な更新を推進するため、中学校1校でリノベーション（長寿命化）改修工事実施設計業務委託を実施した。
- 全小・中・義務教育学校体育館について、災害時の避難所に指定されていることから、避難者の生活環境を改善し、熱中症などの健康被害から児童生徒を守ることにつなげるため、空調設備設置工事に着手するとともに実施設計を行った。
- 学校において新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、国の補助事業（補助率1/2）を活用することにより、必要な手指消毒液等の消耗品や空気清浄機等の備品を購入した。
- 文部科学省が示すGIGAスクール構想により整備した1人1台の学習者用タブレット端末及び校内通信ネットワーク環境について、通信速度を10Gbpsに対応するための通信環境の整備を行い、学習活動に支障がないよう安定稼働に努めた。
- 学習者用タブレット端末で使用する学習支援ソフトを活用するとともに、支援員によるサポートを行ったことで、児童生徒一人ひとりに応じた学びについて、より一層の充実を図った。
- 小学校22校及び義務教育学校（前期課程）1校の学校図書館に学校図書館支援員を1人あたり3校から4校の6グループに分け6名配置した。
蔵書の整理や本の修繕が進むとともに、季節やテーマごとの掲示物や本の紹介コーナーが充実し図書館が利用しやすくなった。また、貸出や返却がスムーズになった。
- 令和4年度、学校プールのあり方等を見直し、今後の対応方法などを示した「春日部市学校プールの効率的利用に関する方針」を策定した。令和5年度は、これに基づき、温水プール（学校教育優先）を整備するための条件及び基本的事項を定めるため、「春日部市温水プール（学校教育優先）整備基本構想」を検討した。
- また、温水プール施設整備までの間、学校プールの利用が継続できないと見込まれる小学校3校について、水泳授業の民間委託契約を締結した。
- 児童生徒の最良の教育環境を整えるため、学校規模適正化に向けた取組として、学校運営協議会の機会を捉え、その前後の時間において、本市の現状や、学校規模適正化の必要性について説明し、情報共有や機運の醸成を図った。
- 食に関する正しい知識と望ましい食習慣をはぐくむ食育を推進するため、担任や栄養教諭、栄養職員による家庭科や学校ファームを活用した学級活動などとの関連を図った食育授業の実施や、給食だよりの充実を図り積極的に情報発信を行うなど、実践的な取組を行い、児童生徒の健康の保持増進をはじめとする食育の充実を図った。また、衛生管理の徹底を図った。
- 学校給食に安全で豊かな地元農産物を取り入れるため、地場産米100%使用を継続した。また、学校給食用農産物の生産者登録制度を開始し、地産地消の推進を図った。
- 食物アレルギーを有する児童生徒が健康で安全な生活を営めるよう、アレルギー除去食の提供時は、本市独自の除去食専用食器の使用を開始した。また学校における課題等についての対応策について、各学校で共通理解を図った。
- 学校給食費の公会計化による計画的な予算運用と適切な徴収管理を図った。
- 就学支援の促進として、国の補助金交付要綱に準じ、市単独事業により、要保護世帯に加え、準要保護世帯に対し事業の継続を図った。また、翌年度入学予定者の保護者に対し、新入学学用品費等の入学前支給を実施した。

- 経済的に修学が困難な者に対して入学準備金、奨学金貸付事業による支援を行った。また、返還金滞納者に対し電話、文書による督促に努めた。
- 通学路における安全確保のため、学校から提出された「通学路に関する要望書」に基づき、関係機関等と調整し、安全対策の円滑な実施と進捗状況の継続的な把握に努めた。
- 江戸川小中学校で運行しているスクールバスに、児童の置き去りを防止するため安全装置を設置した。

今後の課題

- 「第2次春日部市総合振興計画後期基本計画」では、学校環境の改善を図るために優先的に取り組む事業として学校の校舎トイレ改修事業を掲げ、令和4年度に16校であった校舎トイレにおける改修達成校数を令和9年度までに34校、すべての学校の校舎トイレ改修を完了することを目標とし、計画的に工事を進めていく必要がある。
- 学校施設は、昭和50年代をピークに建設が進められ、築後30年以上を経過した建物が全体の約8割となる状況にあり、施設の経年により、屋上・外壁の雨漏りやトイレなどの給排水設備の老朽化劣化対策が課題となっていることから、平成29年度に策定した春日部市学校施設長寿命化計画に基づき、不具合の発生を未然に防ぐ予防保全型の施設管理を行い、計画的な改修等を進めていく必要がある。
- 学習環境に求められる機能・性能を確保するため、「春日部市学校施設長寿命化整備検討委員会要綱」に基づく関係課と十分な協議・検討し、長寿命化の対象とした学校における、長寿命化改修に関する基本計画を策定する必要がある。
- 長寿命化改修を先行して実施する1校をモデル校とし、既存ストックの有効活用を図っていくため、改修等の計画を見直し、春日部市学校施設長寿命化計画の改訂を進めていく必要がある。
- 学校施設は老朽化や経年劣化が全体的に進んでおり、令和5年度は855件の修繕を行い、費用も多額になっている。また、修繕には計画的に実施するものや緊急対応として行うものなど、案件が多いことから、学校と連携した修繕を進めるためメールによる連絡体制を続け計画的に修繕に取り組む必要がある。
- 学習者用タブレット端末（約1万7千台）とそれに伴う機器を、学習活動に支障なく、常に活用できる状態に維持管理していく必要がある。
- 学校給食用農産物の生産者登録制度の活用と、生産者と学校給食を繋げ、双方にとって負担のない範囲でマッチングする必要がある。
- 通学路に関する要望事項について、学校と学務課双方で情報の共有化を図り、関係部署等と連携しながら、継続的に現地状況を把握し、計画的に安全対策を進めていく必要がある。

評価

学校施設の老朽化に伴い、修繕や工事は今後も増加すると思われるため、引き続き施設の維持保全ができる組織体制を維持するとともに、平成29年度に策定された春日部市学校施設長寿命化計画に基づき、計画的な老朽化対策、長寿命化等に努めていただきたい。

学校の校舎トイレについては、和便器が中心であり臭気の問題等の様々な課題があることから、児童生徒の学校環境の向上を図るとともに、有事の際には地域住民の避難所を担うことから、併せて今後も計画的な施設整備に取り組んでいただきたい。

学校における新型コロナウイルス感染症対策のために必要となる物品を購入し、教育活動を継続するための支援をしたことは、評価できる。

学習者用タブレット端末等の情報機器について、引き続き適切な保守管理に努めていただきたい。

学校図書館については、学校図書館支援員が配置されたことによって、学校図書館の環境が整備され、児童が利用しやすくなったことは評価できる。

児童生徒の登下校時の安全確保を目的としたうごく子ども110番推進事業については、小学校1年生の児童に向けて配付されるランドセルカバーと同じクレヨンしんちゃんのイラストに刷新したことで、児童生徒の視認性の向上に努めたことは評価できる。

学校給食用農産物の生産者登録制度を開始し、地産地消の推進を図れたことは、評価できる。

学校選択制度や小規模特認校制度等により、地域の実情や児童生徒の意向に配慮した運用をしており、学校選択の機会拡大が図られていることは評価できる。

※各事務事業の実績

事務事業	令和5年度実績 (事業費・事業の内容)	担当課												
小学校施設 維持・管理 事業	477,193千円 施設の法定点検及び老朽化、機能の劣化による危険個所等の整備を行うと共に中野小学校普通教室化等修繕、武里小学校管理棟屋上等防水修繕、桜川小学校給水ポンプ修繕、内牧小学校消火栓ポンプ修繕、牛島小学校消火栓ポンプ修繕を実施した。 これにより、児童生徒の安全確保及び学校環境の改善が図られた。 (消防設備保守管理業務委託外19件、施設修繕件数 448件)	教育施設課												
小学校 普通教室等 エアコン整備 事業	17,258千円 小学校普通教室等エアコン購入費 (PFI事業に伴う平成28年度からの割賦金)	教育施設課												
小学校 校舎トイレ 改修事業	681,603千円 (うち繰越明許分662,733千円) 粕壁小学校、豊春小学校、幸松小学校校舎トイレにおいて洋便器の設置を含む全面的な改修工事を実施した。 これにより、目標達成に向けて計画どおり学校環境の改善が図られた。 【第2次総合振興計画後期基本計画の成果指標における目標及び経過】 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>施策の成果指標</th> <th>令和4年度末 実績</th> <th>令和5年度末 実績</th> <th>基本計画 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校の校舎トイレにおける 改修達成校数</td> <td>16校</td> <td>19校</td> <td>34校</td> </tr> </tbody> </table>	施策の成果指標	令和4年度末 実績	令和5年度末 実績	基本計画 目標値	学校の校舎トイレにおける 改修達成校数	16校	19校	34校	教育施設課				
施策の成果指標	令和4年度末 実績	令和5年度末 実績	基本計画 目標値											
学校の校舎トイレにおける 改修達成校数	16校	19校	34校											
小学校体育館 耐震対策事業 【新規】	290,788千円 (うち繰越明許分283,506千円) 桜川小学校体育館において、外壁等の耐震対策工事及びエアコン設置を実施し、学校環境の改善及び地域住民の避難場所としての環境改善が図られた。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度 実績</th> <th>令和2年度 実績</th> <th>令和5年度 実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象小学校 (3校)</td> <td>—</td> <td>1校</td> <td>1校</td> </tr> <tr> <td>対象中学校 (5校)</td> <td>1校</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和5年度 実績	対象小学校 (3校)	—	1校	1校	対象中学校 (5校)	1校	—	—	教育施設課
	令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和5年度 実績											
対象小学校 (3校)	—	1校	1校											
対象中学校 (5校)	1校	—	—											
中学校施設 維持・管理 事業	368,192千円 施設の法定点検及び老朽化、機能の劣化による危険個所等の整備を行うと共に武里中学校屋内消火栓設備修繕、江戸川小中学校体育館内部塗装修繕、大增中学校浄化槽修繕、江戸川小中学校消火栓ポンプ修繕、大沼中学校消火栓ポンプ修繕を実施した。 これにより、児童生徒の安全確保及び学校環境の改善が図られた。 (消防設備保守管理業務委託外18件、施設修繕件数 407件)	教育施設課												
中学校 普通教室等 エアコン整備 事業	6,672千円 中学校普通教室等エアコン購入費 (PFI事業に伴う平成28年度からの割賦金)	教育施設課												
中学校等 施設長寿命化 推進事業	160,930千円 学校環境の改善を図るため、学校施設に求められる機能・性能を確保し、長寿命化や計画的な更新を図るため、葛飾中学校リノベーション (長寿命化) 改修工事实施設計業務委託を実施した。	教育施設課												

事務事業	令和5年度実績 (事業費・事業の内容)	担当課								
小学校給食 運営事業	<p>1,012,797千円</p> <p>春日部地域小学校18校の学校給食の安定的な提供のため、賄材料の購入、給食室の消毒及び清掃、給食消耗品の補充、給食備品の買換え・修理、給食食器・食材等の衛生検査を行い、衛生管理体制の徹底や給食設備等の充実を図ることにより、年間を通して安全で安定した学校給食運営を行った。</p> <p>春日部地域の学校給食を適正かつ円滑に行うため、春日部市学校給食連絡協議会及び給食運営委員会、アレルギー対応検討部会を各1回開催した。</p> <p>【第2次総合振興計画後期基本計画の成果指標における目標及び経過】</p> <table border="1" data-bbox="392 629 1254 790"> <thead> <tr> <th>施策の成果指標</th> <th>令和4年度末 実績</th> <th>令和5年度末 実績</th> <th>基本計画 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自校方式給食における地元産食材を生かした献立作成回数（品目数）</td> <td>4回</td> <td>9回</td> <td>14回</td> </tr> </tbody> </table>	施策の成果指標	令和4年度末 実績	令和5年度末 実績	基本計画 目標値	自校方式給食における地元産食材を生かした献立作成回数（品目数）	4回	9回	14回	学校給食課
施策の成果指標	令和4年度末 実績	令和5年度末 実績	基本計画 目標値							
自校方式給食における地元産食材を生かした献立作成回数（品目数）	4回	9回	14回							
中学校給食 運営事業	<p>585,180千円</p> <p>春日部地域中学校9校の学校給食の安定的な提供のため、賄材料の購入、給食室の消毒及び清掃、給食消耗品の補充、給食備品の買換え・修理、給食食器・食材等の衛生検査を行い、衛生管理体制の徹底や給食設備等の充実を図ることにより、年間を通して安全で安定した学校給食運営を行った。</p> <p>春日部地域の学校給食を適正かつ円滑に行うため、春日部市学校給食連絡協議会及び給食運営委員会、アレルギー対応検討部会を各1回開催した。</p> <p>【第2次総合振興計画後期基本計画の成果指標における目標及び経過】</p> <table border="1" data-bbox="392 1252 1254 1413"> <thead> <tr> <th>施策の成果指標</th> <th>令和4年度末 実績</th> <th>令和5年度末 実績</th> <th>基本計画 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自校方式給食における地元産食材を生かした献立作成回数（品目数）</td> <td>4回</td> <td>9回</td> <td>14回</td> </tr> </tbody> </table>	施策の成果指標	令和4年度末 実績	令和5年度末 実績	基本計画 目標値	自校方式給食における地元産食材を生かした献立作成回数（品目数）	4回	9回	14回	学校給食課
施策の成果指標	令和4年度末 実績	令和5年度末 実績	基本計画 目標値							
自校方式給食における地元産食材を生かした献立作成回数（品目数）	4回	9回	14回							
給食センター 運営事業	<p>395,087千円</p> <p>庄和地域7校の安心安全な学校給食の安定的な提供のため、適正な賄材料の購入、調理業務委託、厨房機器点検、食器等の購入、備品の買い替え・修理などを行った。</p> <p>また、鼠・昆虫等の防除、殺菌消毒、消防設備点検、定期清掃、給排水設備保守管理業務などを実施し、施設の適切な管理を図った。</p> <p>給食センターの運営を適正かつ円滑に行うため、春日部市学校給食センター運営委員会を2回開催した。</p> <p>【第2次総合振興計画後期基本計画の成果指標における目標及び経過】</p> <table border="1" data-bbox="392 1892 1254 2054"> <thead> <tr> <th>施策の成果指標</th> <th>令和4年度末 実績</th> <th>令和5年度末 実績</th> <th>基本計画 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>センター方式給食における地元産食材を生かした献立作成回数（品目数）</td> <td>3回</td> <td>9回</td> <td>13回</td> </tr> </tbody> </table>	施策の成果指標	令和4年度末 実績	令和5年度末 実績	基本計画 目標値	センター方式給食における地元産食材を生かした献立作成回数（品目数）	3回	9回	13回	学校給食課
施策の成果指標	令和4年度末 実績	令和5年度末 実績	基本計画 目標値							
センター方式給食における地元産食材を生かした献立作成回数（品目数）	3回	9回	13回							

事務事業	令和5年度実績 (事業費・事業の内容)	担当課																														
学校給食管理 事務 【新規】	28,023千円 学校教職員の負担軽減、保護者の利便性の向上や学校給食の安定的な実施・充実に資するため、学校給食費の適切な管理を図った。 【第2次総合振興計画後期基本計画の成果指標における目標及び経過】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施策の成果指標</th> <th>令和4年度末 実績</th> <th>令和5年度末 実績</th> <th>基本計画 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校給食費の収納率</td> <td>—</td> <td>99.3%</td> <td>99.0%</td> </tr> </tbody> </table>	施策の成果指標	令和4年度末 実績	令和5年度末 実績	基本計画 目標値	学校給食費の収納率	—	99.3%	99.0%	学校給食課																						
施策の成果指標	令和4年度末 実績	令和5年度末 実績	基本計画 目標値																													
学校給食費の収納率	—	99.3%	99.0%																													
学務事務	1,210千円 児童生徒の就学に関し、学校選択制度、小規模特認校制度の運用及び、必要に応じた指定校の変更等を行い、通学区域の適正かつ弾力的運用を図った。	学務課																														
通学路安全 対策事業	0千円 通学路の安全を確保するため、学校、PTA、自治会及び関係機関等と連携し、通学路の安全対策の実施と進捗状況の把握を行った。 【小・中・義務教育学校からの通学路に関する要望書対応結果】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>要望のあった年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>要望書総数</td> <td>103</td> <td>85</td> <td>160</td> <td>61</td> <td>105</td> </tr> <tr> <td>安全対策の実施・充足</td> <td>63</td> <td>65</td> <td>111</td> <td>48</td> <td>78</td> </tr> <tr> <td>検討・要望等</td> <td>18</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>対応不可</td> <td>22</td> <td>19</td> <td>49</td> <td>8</td> <td>22</td> </tr> </tbody> </table> ※令和3年度は埼玉県が中心で進めている通学路安全総点検実施	要望のあった年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	要望書総数	103	85	160	61	105	安全対策の実施・充足	63	65	111	48	78	検討・要望等	18	1	0	5	5	対応不可	22	19	49	8	22	学務課
要望のあった年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度																											
要望書総数	103	85	160	61	105																											
安全対策の実施・充足	63	65	111	48	78																											
検討・要望等	18	1	0	5	5																											
対応不可	22	19	49	8	22																											
うごく子ども 110番推進事業	230千円 市役所の公用車や市内協力団体（春日部小売酒販組合、埼玉県石油業組合春日部支部、日本郵便株式会社春日部郵便局）の自動車等に、「うごく子ども110番」のマニュアルを配付し、ステッカーを貼付してもらい、児童生徒の登下校時に不測の事態が発生した際の緊急連絡先・避難できる場所として安全確保を行った。 また、令和5年度においては、デザインを新しくし、クレヨンしんちゃんのイラストのマグネットシートを作成した。	教育総務課																														
地域見守り 活動の 呼びかけ	0千円 防災無線において市内小・義務教育学校の児童の声で、下校時間の報告と地域の方々への見守り活動の呼びかけを行った。	指導課																														

事務事業	令和5年度実績 (事業費・事業の内容)	担当課																											
未来を担う 人財育成事業	1,196千円 児童生徒のチャレンジ精神の向上を図り、未来を担う人財を育成するため、提案型選考による奨学金の交付を行った。 未来を育む奨学金 交付件数 5件	学務課																											
江戸川小中学校 スクールバス 運行事業	16,401千円 江戸川小中学校に学区内から通学する児童の安心安全を確保するため、スクールバスを運行した。	学務課																											
入学準備金・ 奨学金貸付 事業	1,100千円 経済的理由により修学が困難な者に対し奨学金を貸付するとともに、その保護者に対して入学準備金の貸付を行うことにより、教育の機会均等の推進及び有用な人材の育成を図った。 貸付人数：3人 入学準備金・奨学金貸付審査委員会（3回） 入学準備金 高校（30万円） 2件 入学準備金 専修学校（50万円） 1件	学務課																											
小学校要保護 及び準要保護 就学援助事業	109,663千円 経済的理由で就学困難な児童の保護者に対し、学用品費・給食費等を支給することにより、義務教育の円滑な実施を図った。 翌年度入学予定者の保護者に対し、入学前支給を実施した。 認定者数：1,449人 《要保護82人・準要保護1,367人》 <table border="1" data-bbox="391 1375 770 1641" style="margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>支給項目</th> <th>支給人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学用品費・通学用品費</td> <td>1,372人</td> </tr> <tr> <td>校外活動費（日帰り）</td> <td>1,153人</td> </tr> <tr> <td>校外活動費（宿泊）</td> <td>213人</td> </tr> <tr> <td>新入学児童学用品費等</td> <td>70人</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="821 1375 1252 1693" style="margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">支給項目</th> <th>支給人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">修学旅行費</td> <td>222人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">学校給食費</td> <td>1,364人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">医療費</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">新入学児童学用品費等（入学前支給）</td> <td>新小1</td> <td>127人</td> </tr> <tr> <td>新中1</td> <td>228人</td> </tr> </tbody> </table>	支給項目	支給人数	学用品費・通学用品費	1,372人	校外活動費（日帰り）	1,153人	校外活動費（宿泊）	213人	新入学児童学用品費等	70人	支給項目		支給人数	修学旅行費		222人	学校給食費		1,364人	医療費		0人	新入学児童学用品費等（入学前支給）	新小1	127人	新中1	228人	学務課
支給項目	支給人数																												
学用品費・通学用品費	1,372人																												
校外活動費（日帰り）	1,153人																												
校外活動費（宿泊）	213人																												
新入学児童学用品費等	70人																												
支給項目		支給人数																											
修学旅行費		222人																											
学校給食費		1,364人																											
医療費		0人																											
新入学児童学用品費等（入学前支給）	新小1	127人																											
	新中1	228人																											

事務事業	令和5年度実績 (事業費・事業の内容)	担当課																						
小学校 特別支援教育 就学奨励事業	4,415千円 特別支援学級等に就学する児童及び、学校教育法施行令第22条の3に規定する障害の程度に該当する児童の保護者に対し、就学するために必要な経費の一部を補助することにより、特別支援教育の振興と保護者の経済的負担の軽減を図った。 認定者数:264人 <table border="1" data-bbox="391 481 769 745"> <thead> <tr> <th>補助項目</th> <th>補助人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学用品等購入費</td> <td>164人</td> </tr> <tr> <td>校外活動費(日帰り)</td> <td>148人</td> </tr> <tr> <td>校外活動費(宿泊)</td> <td>26人</td> </tr> <tr> <td>新入学児童学用品費等</td> <td>25人</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="821 481 1200 694"> <thead> <tr> <th>補助項目</th> <th>補助人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>修学旅行費</td> <td>24人</td> </tr> <tr> <td>学校給食費</td> <td>161人</td> </tr> <tr> <td>交流学习交通費</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table>	補助項目	補助人数	学用品等購入費	164人	校外活動費(日帰り)	148人	校外活動費(宿泊)	26人	新入学児童学用品費等	25人	補助項目	補助人数	修学旅行費	24人	学校給食費	161人	交流学习交通費	0人	学務課				
補助項目	補助人数																							
学用品等購入費	164人																							
校外活動費(日帰り)	148人																							
校外活動費(宿泊)	26人																							
新入学児童学用品費等	25人																							
補助項目	補助人数																							
修学旅行費	24人																							
学校給食費	161人																							
交流学习交通費	0人																							
小学校教科用 図書等整備 事業	126,336千円 児童の学習指導を円滑に行うとともに、学力実態を把握して効果的な指導を行うため、教師用教科書、指導書、指導教材、準教科書及び学力検査を整備し、教育内容の充実を図った。	学務課																						
中学校要保護 及び準要保護 就学援助事業	80,721千円 経済的理由で就学困難な生徒の保護者に対し、学用品費・給食費等を支給することにより、義務教育の円滑な実施を図った。 認定者数:860人《要保護 49人・準要保護811人》 <table border="1" data-bbox="391 1220 769 1485"> <thead> <tr> <th>支給項目</th> <th>支給人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学用品費・通学用品費</td> <td>817人</td> </tr> <tr> <td>校外活動費(日帰り)</td> <td>441人</td> </tr> <tr> <td>校外活動費(宿泊)</td> <td>240人</td> </tr> <tr> <td>新入学生徒学用品費等</td> <td>259人</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="821 1220 1200 1433"> <thead> <tr> <th>支給項目</th> <th>支給人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>修学旅行費</td> <td>254人</td> </tr> <tr> <td>学校給食費</td> <td>799人</td> </tr> <tr> <td>医療費</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table>	支給項目	支給人数	学用品費・通学用品費	817人	校外活動費(日帰り)	441人	校外活動費(宿泊)	240人	新入学生徒学用品費等	259人	支給項目	支給人数	修学旅行費	254人	学校給食費	799人	医療費	0人	学務課				
支給項目	支給人数																							
学用品費・通学用品費	817人																							
校外活動費(日帰り)	441人																							
校外活動費(宿泊)	240人																							
新入学生徒学用品費等	259人																							
支給項目	支給人数																							
修学旅行費	254人																							
学校給食費	799人																							
医療費	0人																							
中学校 特別支援教育 就学奨励事業	3,476千円 特別支援学級等に就学する生徒及び、学校教育法施行令第22条の3に規定する障害の程度に該当する生徒の保護者に対し、就学するために必要な経費の一部を補助することにより、特別支援教育の振興と保護者の経済的負担の軽減を図った。 認定者数:131人 <table border="1" data-bbox="391 1798 769 2063"> <thead> <tr> <th>補助項目</th> <th>補助人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学用品等購入費</td> <td>76人</td> </tr> <tr> <td>校外活動費(日帰り)</td> <td>50人</td> </tr> <tr> <td>校外活動費(宿泊)</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>新入学生徒学用品費等</td> <td>27人</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="821 1798 1200 2112"> <thead> <tr> <th>補助項目</th> <th>補助人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>修学旅行費</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>学校給食費</td> <td>79人</td> </tr> <tr> <td>交流学习交通費</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>職場実習交通費</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>通学費</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table>	補助項目	補助人数	学用品等購入費	76人	校外活動費(日帰り)	50人	校外活動費(宿泊)	30人	新入学生徒学用品費等	27人	補助項目	補助人数	修学旅行費	17人	学校給食費	79人	交流学习交通費	6人	職場実習交通費	0人	通学費	0人	学務課
補助項目	補助人数																							
学用品等購入費	76人																							
校外活動費(日帰り)	50人																							
校外活動費(宿泊)	30人																							
新入学生徒学用品費等	27人																							
補助項目	補助人数																							
修学旅行費	17人																							
学校給食費	79人																							
交流学习交通費	6人																							
職場実習交通費	0人																							
通学費	0人																							

事務事業	令和5年度実績 (事業費・事業の内容)	担当課
中学校教科用 図書等整備 事業	6,730千円 生徒の学習指導を円滑に行うとともに、学力実態を把握して効果的な指導を行うため、副読本・準教科書、学力検査を整備し、教育内容の充実を図った。	学務課
学校政策企画 事務 【新規】	15,553千円（うち繰越明許分9,790千円） 温水プール（学校教育優先）を整備するための条件及び基本事項等を定めるため、春日部市温水プール（学校教育優先）整備基本構想策定業務委託により検討を行った。 さらに、温水プール施設整備までの間、学校プールの利用が継続できないと見込まれる小学校3校について、水泳授業の民間委託契約を締結した。 また、児童生徒の最良の教育環境を整えるため、学校運営協議会の機会を捉え、その前後の時間において、学校規模適正化の必要性について説明し、情報共有や機運の醸成を図った。 また、学校用地の維持管理のため、学校用地の一部が借地となっている用地について、用地の権利者と借地契約を更新し借地料を支出した。	教育総務課
小学校運営 事業	393,137千円 各学校に需用費等を予算配当し、各学校で消耗品や教材等の購入や光熱水費（ガス代）の支出を行った。 さらに、新型コロナウイルス感染症対策のために、備品等を購入した。主なものとして、サーキュレーター、空気清浄機、CO2モニター等を購入した。 また、必要な理科備品や教材等を購入し、学校教育環境の充実を図った。	教育総務課
中学校運営 事業	244,577千円 各学校に需用費等を予算配当し、各学校で消耗品や教材等の購入や光熱水費（ガス代）の支出を行った。 さらに、新型コロナウイルス感染症対策のために、備品等を購入した。主なものとして、サーキュレーター、空気清浄機、CO2モニター等を購入した。 また、必要な理科備品や教材等を購入し、学校教育環境の充実を図った。	教育総務課
課外部活動 補助金	484千円 中学校生徒の課外部活動を支援するために組織された中学校育成会等6団体に対し、部活動の用具購入費等を必要経費として、予算の範囲内において補助金を交付し、課外部活動の育成を図るとともに、保護者負担の軽減を図った。 補助率：8.4%（1校あたりの平均補助率）	教育総務課

事務事業	令和5年度実績 (事業費・事業の内容)	担当課						
小学校図書館 整備事業	<p>18,391千円</p> <p>各学校に予算配当し、各学校で計画的に学校図書を購入した。文部科学省が定める学校図書館図書標準冊数に基づく図書整備率は、100%の目標に対し、前年度比で0.2ポイント減少し、118.4%となった。個別の学校図書館図書標準達成校は、小学校22校及び義務教育学校（前期課程）1校の全23校中22校であった。</p> <p>また、夏休み期間中の読書活動を推進するため、小学校5校において「いきいき図書室推進事業」として学校図書館の開放を行った。</p> <p>学校図書館支援員を3校から4校あたり1名ずつ配置し、学校図書館の整備・充実を図った。</p> <p>【学校図書館図書標準達成校数】</p> <table border="1" data-bbox="392 640 1091 801"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和4年度末 実績</th> <th>令和5年度末 実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校図書館図書標準 達成校数</td> <td>22校/23校</td> <td>22校/23校</td> </tr> </tbody> </table>		令和4年度末 実績	令和5年度末 実績	学校図書館図書標準 達成校数	22校/23校	22校/23校	教育総務課
	令和4年度末 実績	令和5年度末 実績						
学校図書館図書標準 達成校数	22校/23校	22校/23校						
小学校情報 教育推進事業	<p>356,166千円</p> <p>教育DX推進の一環として、文部科学省が進めるオンライン学習システム（MEXCBT）などに対応するため、10Gbpsへの通信環境整備を行った。</p> <p>また、学習者用タブレット端末及び校内通信ネットワーク環境の保守管理を行った。</p> <p>さらに、各学校のコンピュータ教室にパソコン・周辺機器等をリース契約で整備し、保守管理を行った。</p> <p>学校のICT環境を整備することにより、ICT社会に対応できる人材育成に資することができた。</p>	教育総務課						
中学校図書館 整備事業	<p>5,973千円</p> <p>各学校に予算配当し、各学校で計画的に学校図書を購入した。文部科学省が定める学校図書館図書標準冊数に基づく図書整備率は、100%の目標に対し、前年度比で0.1ポイント減少し、110.5%となった。個別の学校図書館図書標準達成校は、中学校11校及び義務教育学校（後期課程）1校の全12校中9校であった。</p> <p>【学校図書館図書標準達成校数】</p> <table border="1" data-bbox="392 1509 1091 1671"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和4年度末 実績</th> <th>令和5年度末 実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校図書館図書標準 達成校数</td> <td>9校/12校</td> <td>9校/12校</td> </tr> </tbody> </table>		令和4年度末 実績	令和5年度末 実績	学校図書館図書標準 達成校数	9校/12校	9校/12校	教育総務課
	令和4年度末 実績	令和5年度末 実績						
学校図書館図書標準 達成校数	9校/12校	9校/12校						
中学校情報 教育推進事業	<p>150,624千円</p> <p>教育DX推進の一環として、文部科学省が進めるオンライン学習システム（MEXCBT）などに対応するため、10Gbpsへの通信環境整備を行った。</p> <p>また、学習者用タブレット端末及び校内通信ネットワーク環境の保守管理を行った。</p> <p>さらに、各学校のコンピュータ教室にパソコン・周辺機器等をリース契約で整備し、保守管理を行った。</p> <p>学校のICT環境を整備することにより、ICT社会に対応できる人材育成に資することができた。</p>	教育総務課						

基本目標	3 市民が主役となって活躍し、生きがいを持てるまち
政策	2. 一人ひとりの個性と人権が尊重されるまちをつくる
施策	1. 人権を尊重するまちづくりの推進

令和5年度の主な取組

- 人権は、一人ひとりが生まれながらにして持っている大切な権利であるとの認識に立ち、様々な啓発事業を実施し、人権意識の高揚を図った。
- ・公民館と連携した人権教育研修を実施した。
 - ・小・中・義務教育学校と連携した人権作文・ポスター作成などによる人権教育の普及・啓発を実施した。
 - ・人権ポスター展の実施や人権啓発ビデオ等の貸し出しを実施した。
 - ・市長部局との連携により、職員を対象とした人権・同和行政研修等を実施した。
 - ・部落差別をはじめとしたあらゆる人権問題の早期解決に向け、地域間の交流を通じて、地域住民の人権意識の高揚と正しい理解を図るため、埼玉12市町の連携により「第32回埼玉人権を考えるつどい」を越谷市で開催した。
 - ・春日部市人権教育推進協議会へ補助金を交付し、活動の支援を行うとともに、協議会との連携による駅頭キャンペーン等による人権啓発を実施した。

今後の課題

- 社会経済が発展する一方で、人と人との関係は希薄化・孤立化しており、あらためて「心の豊かさ」が問い直されている。部落差別や女性、子ども、高齢者、障がい者、外国人、アイヌの人々、HIV（エイズウイルス）感染者等、犯罪被害者、北朝鮮拉致被害者、刑を終え出所した人、性的マイノリティ、ホームレスなどの人権問題が依然として存在している中で、最近ではヤングケアラー、インターネット上の人権侵害など、新たな人権問題が発生している。このため、引き続き人権意識の向上のために啓発活動を継続する必要がある。

評価

市民アカデミーを開催し、「人権啓発事業に参加して、人権問題についての関心や理解が深まった市民の割合」が85.9%であったが、人権ポスター展を市内4か所で開催するなど、人権意識の高揚を図るための取り組みを着実に進めることができたことは評価できる。

一方で、ヤングケアラーなど新たな人権問題も発生しており、今後も差別のない社会の実現に向け、関係団体との連携を図りつつ、人権啓発を推進していただきたい。

※各事務事業の実績

事務事業	令和5年度実績 (事業費・事業の内容)	担当課								
人権教育推進協議会補助金	<p>618千円</p> <p>①人権教育・同和教育研修の推進 ・市民対象：16回、1,632人参加</p> <p>②部落差別の解消をはじめとする人権啓発物の広報紙への掲載 ・年4回市広報に「人権それは愛」を掲載（埼葛12市町共同）</p> <p>③市民アカデミー ・R5. 10. 12 春日部市民文化会館小ホール 人権作文発表（4人）と人権ポスターの展示（82点） 教育講演会「ウクライナからの声を聴く」129人参加</p> <p>④人権ポスター展の開催 ・教育センター1階ホール、武里出張所 R5. 11. 24～11. 30 ・市役所市民ホール R5. 12. 1～12. 7 ・庄和総合支所市民ギャラリー R5. 12. 8～12. 15</p> <p>⑤人権週間駅頭キャンペーンの実施 ・R5. 12. 4 参加者40人。人権週間PRのため啓発品3,400個を配布</p> <p>⑥人権教育・同和教育映画等の購入（DVD2本購入） ・「スマイリーキクチと考えるインターネットの正しい使い方」 ・「障害者は困っています！～合理的配慮へのポイント①～」</p> <p>⑦人権教育・同和教育教材の貸し出し ・46回 1,593人</p> <p>⑧第32回埼葛人権を考えるつどい ・R5. 10. 5 越谷コミュニティセンター 約5,000人参加</p> <p>これらの事業を通じて、市民の人権尊重意識の普及・高揚を図った。</p> <p>【第2次総合振興計画後期基本計画の成果指標における目標及び経過】</p> <table border="1" data-bbox="391 1167 1252 1377"> <thead> <tr> <th>施策の成果指標</th> <th>令和4年度末 実績</th> <th>令和5年度末 実績</th> <th>基本計画 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人権啓発事業に参加して、 人権問題についての関心や 理解が深まった市民の割合</td> <td>95.7%</td> <td>85.9%</td> <td>92.7%</td> </tr> </tbody> </table>	施策の成果指標	令和4年度末 実績	令和5年度末 実績	基本計画 目標値	人権啓発事業に参加して、 人権問題についての関心や 理解が深まった市民の割合	95.7%	85.9%	92.7%	社会教育課
施策の成果指標	令和4年度末 実績	令和5年度末 実績	基本計画 目標値							
人権啓発事業に参加して、 人権問題についての関心や 理解が深まった市民の割合	95.7%	85.9%	92.7%							

基本目標	3 市民が主役となって活躍し、生きがいを持てるまち
政策	3. だれもが学べ、地域に生かせるまちをつくる
施策	1. 社会教育の充実

令和5年度の主な取組

- 学習活動に取り組む市民の意識の高まりがある中、心豊かに充実した生活を送ることができる社会づくりが重要となっていることから、様々な事業を展開した。
 - ・社会教育関係団体事業費補助金を子ども会育成連絡協議会、ボーイスカウト連絡協議会、ガールスカウト連絡会、PTA連合会、文化連合会へ交付し、活動の支援を図った。
 - ・社会教育委員会議では、令和4年度～令和5年度の調査・研究テーマである「デジタル社会における社会教育について」検討を重ね、今後の社会教育のあり方やデジタルサービスの活用方法についてを提言書にまとめて教育委員会に提出した。
 - ・人権・社会同和教育研修を開催した。
 - ・二十歳を祝う会は公募委員を含む20人の実行委員会を組織して準備を進め、市民との協働により工夫をこらした式典を開催した。
- 青少年期は、様々な人々との交流の中で、豊かな人間性や自主性、協調性などを培う重要な時期であるため、各種団体と協力し、子ども達の交流活動・体験活動を実施した。
 - ・青少年の地域活動・ボランティア活動機会の創出のため、中学生を中心にボランティア手帳の配布を行い、地域活動・ボランティア活動等、人に喜ばれる活動を行った児童生徒に対して評価・表彰活動を行う学校を支援した。
 - ・子ども達が春日部市に誇りを持ち、郷土愛を高める活動として、かすかべ郷土かるたを活用し、小学3年生を対象に郷土学習を実施した。
 - ・共栄大学・春日部青年会議所・教育委員会が子ども大学かすかべ実行委員会を組織し、子ども達の知的好奇心を刺激する講義や体験活動を行う子ども大学かすかべを実施した。
 - ・青少年の体験活動の機会を創出するため、包括的連携協定を締結している企業等と連携した「かすかべ郷土かるた体験会」や市内社会教育関係団体の活動を体験できる「こどもフェスタ」を実施した。
- 図書館では、紙や電子といった媒体に関わらず読書活動を推進するための様々な取組を行った。
 - ・国の「読書バリアフリー推進計画」やデジタル社会の推進に対応した「第2次春日部市子ども読書活動推進計画」を策定した。
 - ・セカンドブック事業「らんどせるブックかすかべ」において、小学校及び義務教育学校1年生へ絵本、図書館利用券、読書通帳のプレゼントと併せて電子書籍サービス「かすかべ電子図書館」の利用登録を行った。また、新たに中学校1年生及び義務教育学校7年生へ「かすかべ電子図書館」の利用登録を行った。
 - ・中央図書館の電動式移動棚（閉架書庫）の更新修繕を実施し、安定的で継続的な図書館運営に努めた。
- 市民の学習意欲に対応するため、地域の学習拠点となる公民館、視聴覚センター、図書館などの学習環境を整備している。
 - ・施設の老朽化に対応するため、施設修繕を計画的に実施した。
 - ・家庭教育学級、視聴覚教育関係講座・教室などの事業を実施し、市民の活発な学習活動を促進した。
 - ・公民館だより、ホームページ、学習情報サロンなどを活用し、学習に関する情報提供を進めた。
 - ・新型コロナウイルス感染症対策に伴うガイドラインを制定し、対策を徹底した。
 - ・ウィズコロナ・ポストコロナ時代における新たな社会に柔軟に対応した各種事業（青少年リーダー育成事業等）の展開を図りながら利用者数の増加を図った。また「高齢者向けスマホ教室（デジタルデバイド対策）」を実施した。その結果、令和5年度における利用者数においては約42万人とコロナ禍前（平成21～30年）の8割程度まで回復してきた。
 - ・市民センター（地区センター）開館に向け、市民センターとなる各公民館に学習スペースを新設した。小・中学生および高校生などを対象としたこどもの居場所機能を追加した。
- 中央公民館及び武里大枝公民館のエレベーター更新工事が完了した。
- 武里南地区公民館屋上防水修繕が完了した。
- 視聴覚センターでは機能を生かした事業として、小学校向けに「子どもメディア体験講座」を開催し、様々なメディアを使って調べ、考え、まとめ、発表できる児童生徒の育成に努めた。また、市民パソコンセミナーについては市民ニーズに対応し、文書処理入門の講座を追加する等の講座の充実を図った。

○視聴覚センターのさらなる有効活用を図るため、市内在住、在勤、在学者なども利用できるよう利用者の範囲を拡大するとともに、午後10時まで利用可能とするなど、運用の見直しを行った。

今後の課題

- 学習活動に取り組む市民の意識の高まりがあるため、学習機会の確保及び学習成果の発表の機会を充実させることが求められている。
- 学校・家庭・地域の連携や社会教育関係団体の協力などにより、家庭・地域の教育力の向上を図ることや、市民の学習機会の確保及び学習成果の発表の機会を充実させることが重要である。
- 社会教育委員会より提出された提言書「デジタル社会における社会教育について」を受けて、関係部署、市内小・中学校及び義務教育学校、市民等へ周知し、提言の趣旨を反映した社会教育事業の展開につなげていく必要がある。
- 地域全体で子どもたちを育むため、地域・家庭・学校が相互に連携し、社会総がかりで多様な体験や活動を行う機会を増やすことが求められている。
- 「第2次春日部市子ども読書活動推進計画」の円滑な推進に努める必要がある。
- 平成29年3月に公民館運営審議会より提出された意見書「春日部市公民館の方向性について」に基づいた具体的な施策の実施を図り、各種団体との連携を強化・拡充する必要がある。
- 公民館施設の多くは経年による老朽化や機能低下が進行しているため、施設の改修・建替えを適切なタイミングで実施し、良好な学習環境を維持することが重要となる。
- 近年、施設の老朽化が激しいため、市民からの施設の補修・修繕の要求が高まっている。また、市民のニーズに対応した事業の実施が望まれている。
- 市民から快適な施設利用に対する要望が高まっている。
- 視聴覚センターの貸出し機材が老朽化している。市民の貸出しニーズに対応した新しい貸出し機材の要望が高まってきている。

評価

学習活動拠点として、市民ニーズを汲み上げた講座を追加するなど、講座等の充実を行い、市民の学習機会を確保したこと、計画的な設備・備品修繕の実施など、市民の学習環境の向上を図ったことは評価できる。

青少年が体験活動をする機会が少なくなっている中、大学や関係団体と連携して「子ども大学かすかべ」などの体験活動事業を実施しただけでなく、包括的連携協定を締結している企業と連携して体験活動の機会を創出したことは評価できる。

図書館においては、今後のデジタル社会の実現などに向けた「第2次春日部市子ども読書活動推進計画」の策定や、電子書籍サービス「かすかべ電子図書館」の利用拡大を行ったことは評価できる。

公民館においては、利用者が安心・安全に活動できるよう中央公民館及び武里大枝公民館のエレベーター更新工事、武里南地区公民館屋上防水修繕が完了したことは評価できる。

引き続き、学校をはじめ様々な関係機関等との連携を強化・拡充することにより、より一層社会教育の充実に努めていただきたい。

今後も市民がより利用しやすい施設とするための計画的な施設修繕や利用団体が活発に活動するための相談体制の充実を進めていただきたい。利用者数の減少した施設については、その要因を分析し、利用者数の向上に向けた取組を進めていただきたい。

※各事務事業の実績

事務事業	令和5年度実績 (事業費・事業の内容)	担当課																																																																																
公民館運営 事業 (主催事業)	<p>277,723千円(公民館運営事業(施設維持・管理等)を含む)</p> <p>中央公民館及び各地区公民館において、各種講座や諸集会の事業を行い、市民の学習活動の促進を図った。なお、展示や講座等は前年度と事業内容が異なる場合がある。また、回数または団体数が「0」のところは新型コロナウイルス感染症の影響により中止したもの。</p> <p>○中央公民館 ※()は4年度</p> <table border="0"> <tr> <td>音楽鑑賞会</td> <td>1回</td> <td>223人</td> <td>(193人)</td> </tr> <tr> <td>市民県展入選作品展</td> <td>1回(6日間)</td> <td>834人</td> <td>(870人)</td> </tr> <tr> <td>かすかべライブフェスタ</td> <td>1回</td> <td>145人</td> <td>(139人)</td> </tr> <tr> <td>音響操作セミナー</td> <td>1回(2日間)</td> <td>24人</td> <td>(10人)</td> </tr> <tr> <td>講堂機器操作説明会</td> <td>5回</td> <td>71人</td> <td>(53人)</td> </tr> <tr> <td>教養講座(1)</td> <td>1回</td> <td>84人</td> <td>(-)</td> </tr> <tr> <td>教養講座(2)</td> <td>3回</td> <td>77人</td> <td>(-)</td> </tr> <tr> <td>16公民館合同フェスティバル</td> <td>1回(6日間)</td> <td>3,123人</td> <td>(2,217人)</td> </tr> <tr> <td>中央公民館利用者協議会(陶芸窯利用者をつどい)</td> <td>1回</td> <td>37人</td> <td>(27人)</td> </tr> <tr> <td>企画展示会(障がい者作品展)</td> <td>1回(6日間)</td> <td>1,178人</td> <td>(1,159人)</td> </tr> <tr> <td>(災害報道写真展)</td> <td>1回(6日間)</td> <td>ロビー展示とした</td> <td>(186人)</td> </tr> <tr> <td>(全国科学館巡回展)</td> <td>1回(6日間)</td> <td>324人</td> <td>(262人)</td> </tr> <tr> <td>キッズフェスティバル</td> <td>1回</td> <td>287人</td> <td>(105人)</td> </tr> <tr> <td>年少リーダー研修会</td> <td>16回(16日間)</td> <td>278人</td> <td>(132人)</td> </tr> <tr> <td>サークル体験月間(実地・活動報告)</td> <td>(19団体参加)</td> <td>19人</td> <td>(43人)</td> </tr> <tr> <td>公民館研究大会</td> <td>0回</td> <td>-</td> <td>(57人)</td> </tr> </table>	音楽鑑賞会	1回	223人	(193人)	市民県展入選作品展	1回(6日間)	834人	(870人)	かすかべライブフェスタ	1回	145人	(139人)	音響操作セミナー	1回(2日間)	24人	(10人)	講堂機器操作説明会	5回	71人	(53人)	教養講座(1)	1回	84人	(-)	教養講座(2)	3回	77人	(-)	16公民館合同フェスティバル	1回(6日間)	3,123人	(2,217人)	中央公民館利用者協議会(陶芸窯利用者をつどい)	1回	37人	(27人)	企画展示会(障がい者作品展)	1回(6日間)	1,178人	(1,159人)	(災害報道写真展)	1回(6日間)	ロビー展示とした	(186人)	(全国科学館巡回展)	1回(6日間)	324人	(262人)	キッズフェスティバル	1回	287人	(105人)	年少リーダー研修会	16回(16日間)	278人	(132人)	サークル体験月間(実地・活動報告)	(19団体参加)	19人	(43人)	公民館研究大会	0回	-	(57人)	中央公民館																
音楽鑑賞会	1回	223人	(193人)																																																																															
市民県展入選作品展	1回(6日間)	834人	(870人)																																																																															
かすかべライブフェスタ	1回	145人	(139人)																																																																															
音響操作セミナー	1回(2日間)	24人	(10人)																																																																															
講堂機器操作説明会	5回	71人	(53人)																																																																															
教養講座(1)	1回	84人	(-)																																																																															
教養講座(2)	3回	77人	(-)																																																																															
16公民館合同フェスティバル	1回(6日間)	3,123人	(2,217人)																																																																															
中央公民館利用者協議会(陶芸窯利用者をつどい)	1回	37人	(27人)																																																																															
企画展示会(障がい者作品展)	1回(6日間)	1,178人	(1,159人)																																																																															
(災害報道写真展)	1回(6日間)	ロビー展示とした	(186人)																																																																															
(全国科学館巡回展)	1回(6日間)	324人	(262人)																																																																															
キッズフェスティバル	1回	287人	(105人)																																																																															
年少リーダー研修会	16回(16日間)	278人	(132人)																																																																															
サークル体験月間(実地・活動報告)	(19団体参加)	19人	(43人)																																																																															
公民館研究大会	0回	-	(57人)																																																																															
公民館運営 事業 (主催事業)	<p>○粕壁地区公民館・粕壁南公民館</p> <table border="0"> <tr> <td>婦人講座</td> <td>3回</td> <td>128人</td> <td>(71人)</td> </tr> <tr> <td>幼児家庭教育学級</td> <td>4回</td> <td>103人</td> <td>(256人)</td> </tr> <tr> <td>社会を明るくする運動研修会</td> <td>1回</td> <td>28人</td> <td>(-)</td> </tr> <tr> <td>子ども体験教室(1)</td> <td>1回</td> <td>25人</td> <td>(15人)</td> </tr> <tr> <td>子ども体験教室(2)</td> <td>1回</td> <td>15人</td> <td>29人</td> </tr> <tr> <td>粕壁地区体育祭</td> <td>1回</td> <td>2,228人</td> <td>(-)</td> </tr> <tr> <td>夏休み企画学習体験4Days</td> <td>1回</td> <td>21人</td> <td>新規</td> </tr> <tr> <td>粕壁地区壮年ソフトボール大会</td> <td>1回(2日間)</td> <td>317人</td> <td>(270人)</td> </tr> <tr> <td>利用団体代表者会議</td> <td>1回</td> <td>34人</td> <td>(40人)</td> </tr> <tr> <td>ジュニア囲碁スクール</td> <td>12回</td> <td>69人</td> <td>(72人)</td> </tr> <tr> <td>公民館だより「桐のまち」の発行</td> <td>6回</td> <td>16,400部/回</td> <td></td> </tr> <tr> <td>サークル体験月間</td> <td>19団体</td> <td>61人</td> <td>(28人)</td> </tr> <tr> <td>教育講座(かすかべカフェ)</td> <td>10回</td> <td>392人</td> <td>(317人)</td> </tr> <tr> <td>教育講座(健康をかんがえる)</td> <td>41回</td> <td>1,092人</td> <td>(867人)</td> </tr> <tr> <td>コミセン茶屋</td> <td>10回</td> <td>135人</td> <td>(202人)</td> </tr> <tr> <td>人権教育研修会</td> <td>1回</td> <td>34人</td> <td>(40人)</td> </tr> <tr> <td>ジュニア将棋道場</td> <td>11回</td> <td>45人</td> <td>新規</td> </tr> <tr> <td>粕南フェス</td> <td>1回(2日間)</td> <td>610人</td> <td>(421人)</td> </tr> <tr> <td>自然観察会(かすかべカフェに含む)</td> <td>1回</td> <td>14人</td> <td>(16人)</td> </tr> <tr> <td>粕南すくすくひろば</td> <td>10回</td> <td>78人</td> <td>新規</td> </tr> </table>	婦人講座	3回	128人	(71人)	幼児家庭教育学級	4回	103人	(256人)	社会を明るくする運動研修会	1回	28人	(-)	子ども体験教室(1)	1回	25人	(15人)	子ども体験教室(2)	1回	15人	29人	粕壁地区体育祭	1回	2,228人	(-)	夏休み企画学習体験4Days	1回	21人	新規	粕壁地区壮年ソフトボール大会	1回(2日間)	317人	(270人)	利用団体代表者会議	1回	34人	(40人)	ジュニア囲碁スクール	12回	69人	(72人)	公民館だより「桐のまち」の発行	6回	16,400部/回		サークル体験月間	19団体	61人	(28人)	教育講座(かすかべカフェ)	10回	392人	(317人)	教育講座(健康をかんがえる)	41回	1,092人	(867人)	コミセン茶屋	10回	135人	(202人)	人権教育研修会	1回	34人	(40人)	ジュニア将棋道場	11回	45人	新規	粕南フェス	1回(2日間)	610人	(421人)	自然観察会(かすかべカフェに含む)	1回	14人	(16人)	粕南すくすくひろば	10回	78人	新規	中央公民館
婦人講座	3回	128人	(71人)																																																																															
幼児家庭教育学級	4回	103人	(256人)																																																																															
社会を明るくする運動研修会	1回	28人	(-)																																																																															
子ども体験教室(1)	1回	25人	(15人)																																																																															
子ども体験教室(2)	1回	15人	29人																																																																															
粕壁地区体育祭	1回	2,228人	(-)																																																																															
夏休み企画学習体験4Days	1回	21人	新規																																																																															
粕壁地区壮年ソフトボール大会	1回(2日間)	317人	(270人)																																																																															
利用団体代表者会議	1回	34人	(40人)																																																																															
ジュニア囲碁スクール	12回	69人	(72人)																																																																															
公民館だより「桐のまち」の発行	6回	16,400部/回																																																																																
サークル体験月間	19団体	61人	(28人)																																																																															
教育講座(かすかべカフェ)	10回	392人	(317人)																																																																															
教育講座(健康をかんがえる)	41回	1,092人	(867人)																																																																															
コミセン茶屋	10回	135人	(202人)																																																																															
人権教育研修会	1回	34人	(40人)																																																																															
ジュニア将棋道場	11回	45人	新規																																																																															
粕南フェス	1回(2日間)	610人	(421人)																																																																															
自然観察会(かすかべカフェに含む)	1回	14人	(16人)																																																																															
粕南すくすくひろば	10回	78人	新規																																																																															

※各事務事業の実績

事務事業	令和5年度実績 (事業費・事業の内容)			担当課	
公民館運営 事業 (主催事業)	○内牧地区公民館・内牧南公民館			中央公民館	
	子育てサロン(内牧プレイルーム)	12回	173人		(192人)
	幼児家庭教育学級	2回	87人		(58人)
	家族ふれあい教室うちまき蝶の観察会	1回	32人		(25人)
	青少年体験教室キッズフェスタうちまき2023	1回	368人		(-)
	青少年体験教室障がいのある子どもと家族の交流会	8回	430人		(-)
	青少年体験教室子どもたちの作品展	3回	650人		(-)
	青少年体験教室星空観賞とコンサート	1回	204人		(-)
	青少年体験教室キッズ交流ステーション講演会	1回	88人		(-)
	青少年体験教室鉄道会社に行ってみよう	1回	37人		(-)
	青少年体験教室ドローンを学び操縦体験を行おう	1回	38人		(-)
	青少年体験教室めざせ！ダンサー	1回	66人		(-)
	青少年体験教室飼育係・獣医師になるには	1回	32人		(-)
	音楽鑑賞会うちまき緑のコンサート	1回	54人		(130人)
	内牧ふれあい講座	4回	60人		(54人)
	みんなで考える内牧スマートフォン活用講座	2回	29人		(-)
	教養講座	2回	31人		(127人)
	趣味の講座親子そば打ち教室	1回	23人		(44人)
	内牧地区体育祭	1回	600人		(-)
	内牧地区文化祭	1回	340人		(130人)
	公民館利用者のつどい・人権研修会	2回	16人		(16人)
	内牧一区自主防災訓練	1回	87人		(58人)
	内牧地区婦人バレーボール・ソフトバレー大会	1回	246人		(-)
	内牧地区少年少女球技大会	1回	155人		(-)
	公民館だより「うちまき」発行	8回	4,500部/回		
	○豊春地区公民館・豊春第二公民館				
	みんなが集えるアート展	1回	2,470人		(2,670人)
	いきいき学級	3回	178人		(205人)
	豊春演芸のつどい	1回	123人		(150人)
	遊学会「親子で作ろう！工作紙で恐竜づくり」	1回	14人		(26人)
	遊学会「やさしい！わかる！パソコン教室」	1回	6人		(10人)
	おもしろ科学教室	1回	18人		(27人)
	学社連携事業	2回	54人		(58人)
	豊春地区体育祭	1回	1,500人		(-)
	豊春地区公民館文化祭	1回	250人		(200人)
	豊春第二公民館文化祭	1回	250人		(350人)
	小・中学生期家庭教育学級	1回	63人		(46人)
PAセミナー	3回	45人	(23人)		
公民館利用者のつどい	3回	52人	(57人)		
人権問題研修会	2回	43人	(48人)		
とよはる音楽祭	1回	152人	(115人)		
小学生料理教室	1回	11人	(14人)		
お楽しみウォーキング	1回	17人	(11人)		
干支のつるし飾り	1回	13人	(13人)		
豊町自治会豊春第二公民館 合同防災訓練	1回	82人	(50人)		
高齢者向けスマホ教室	2回	46人	(163人)		
えんJOYトレーニング	40回	408人	(684人)		
サークル体験	1回	109人	(-)		
チャレンジクッキング	1回	5人	(-)		
夏休み小・中学生体験シリーズ	1回	20人	新規		
素敵にアレンジ「華小箱」	1回	11人	新規		
親子の広場	24回	446人	(429人)		
えほんの広場	12回	47人	(56人)		
オレンジカフェ	24回	265人	(173人)		
公民館だより「豊春」の発行	8回	14,000部/回			

※各事務事業の実績

事務事業	令和5年度実績 (事業費・事業の内容)			担当課	
公民館運営 事業 (主催事業)	○武里地区公民館・武里東公民館			中央公民館	
	防災対策事業	12回	162人		(317人)
	あそぼうよ!	0回	-		(-)
	キッズフェスタ	2回	84人		(142人)
	子育てサロン	11回	322人		(244人)
	植付から収穫まで いもほり!	3回	52人		(99人)
	ふれあい教室「目指せ!星博士」	3回	35人		(20人)
	武里小学校放課後子ども教室	11回	513人		(375人)
	ふれあい教室「いこーよ!こうみんかん」	0回	-		(-)
	たけさとカフェ	13回	317人		(365人)
	パソコンの操作を学ぼう!	12回	29人		(45人)
	家庭教育講演会	0回	-		(-)
	幼児家庭教育学級(子育て広場)	0回	-		(-)
	くらしの講座	0回	-		(-)
	小中学生期家庭教育学級	1回	28人		(15人)
	武里市民センターまつり	1回(2日間)	768人		(913人)
	たけさとBunkaウィーク	0回	-		(-)
	趣味講座「うちdeつくろう!」	0回	-		(-)
	武里地区体育祭	1回	2,300人		(-)
	サークルスタート	0回	-		(58人)
	日食をみてみよう!	0回	-		(-)
	公民館利用者会議	2回	39人		(39人)
	グラウンド利用団体代表者調整会議	6回	138人		(123人)
	人権教育研修会	2回	39人		(39人)
	オレンジカフェ「アサンテたけさと」	12回	210人		(213人)
	オレンジカフェ	11回	325人		(222人)
	えんトレ体操サポーター養成講座	0回	0人		(-)
	えんJOYトレーニング	42回	1,084人		(635人)
	教養講座「春・秋の散策」	2回	38人		(34人)
	教養講座「夏の短期自習室」	2回	14人		(16人)
やってみよう!!スマホでインターネット	0回	-	(15人)		
公民館だより「武里」の発行	12回	17,000部/回			

※各事務事業の実績

事務事業	令和5年度実績 (事業費・事業の内容)			担当課	
公民館運営 事業 (主催事業)	○幸松地区公民館・幸松第二公民館			中央公民館	
	スポーツ広場	35回	350人		(460人)
	子育てサロン	12回	101人		(130人)
	こうまつ寺子屋	9回	175人		(226人)
	幸松地区体育振興会各種スポーツ事業	3回	92人		(98人)
	幼児家庭教育学級①②	2回	38人		(19人)
	幸松地区体育祭	1回	2,300人		(-)
	幸松ふれあい文化祭	1回(2日)	1,108人		(792人)
	小・中学生期家庭教育学級	1回	44人		(37人)
	小学生料理教室	0回	-		(-)
	利用者のつどい	1回	27人		(40人)
	人権問題研修会	1回	27人		(40人)
	むかしの遊び教室	0回	-		(-)
	こうまつ音楽祭	1回	86人		(-)
	サークル体験会	1回	24人		(7人)
	オープン講座	1回	9人		(9人)
	幸松地区防災のつどい	1回	64人		(47人)
	はじめてのパソコン教室	0回	-		(-)
	折り紙で作る干支飾り「～辰～」	1回	19人		(15人)
	「睡眠」と「健康」の知恵袋講座	(-)	(-)		(-)
	マハロウクレレの新春コンサート	1回	71人		(-)
	幸松第二公民館利用者作品展	12回	-		(-)
	公民館まつり	1回	494人		(350人)
	公民館だより「ふじの里」の発行	6回	8,700部/回		
	○豊野地区公民館・藤塚公民館				
	公民館利用者のつどい	1回	32人		(41人)
	小・中学生期合同家庭教育学級	0回	-		(-)
	子育てふれあいサロン	11回	112人		(157人)
	みんなでピンポン	23回	207人		(274人)
	ふれあい教室	5回	253人		(46人)
	チャレンジ教室	1回	21人		(138人)
	必ず役立つ入門講座	3回	42人		(21人)
	豊野キッズフェスタ	1回	50人		(-)
	人権教育研修会	1回	36人		(41人)
	豊野地区体育祭	1回	2,300人		(-)
	三世代交流スポーツフェスティバル	1回	320人		(206人)
豊野地区文化祭	1回	211人	(148人)		
豊野地区文化連盟サークル体験会	1回	56人	(55人)		
豊野地区公民館ロビー展	3回	-	(-)		
健康を考えるつどい	1回	113人	(29人)		
豊野地区の文化財と史跡巡り	1回	7人	(8人)		
サークル体験月間	1回	40人	(20人)		
公民館だより「とよの」の発行	12回	6,500部/回			

※各事務事業の実績

事務事業	令和5年度実績 (事業費・事業の内容)			担当課		
公民館運営 事業 (主催事業)	○武里南地区公民館・武里大枝公民館			中央公民館		
	クラブ・サークル連絡会	1回	55人		(66人)	
	子育てふれあいサロン	12回	167人		(310人)	
	小・中学生期合同家庭教育学級	0回	-		(-)	
	人権擁護事業	1回	58人		(66人)	
	青少年健全育成事業	4回	51人		(41人)	
	武里団地体育祭	1回	延べ400人		(-)	
	武里団地文化祭	0回	-		(-)	
	レクリエーションスポーツ	2回	49人		(-)	
	教養講座	30回	583人		(682人)	
	体験講座	14回	566人		(287人)	
	一知的書評合戦ービブリオバトル	1回	教養講座に合算		(7人)	
	武里団地音楽鑑賞会	3回	223人		(681人)	
	高齢者安心安全教室	1回	45人		(-)	
	外国人による日本語スピーチ大会	1回	60人		42人	
	健康寿命をのばすウォーキング講座	0回	-		55人	
	武里団地着工60周年記念事業	3回	141人		新規	
	サークル発表会	1回	16人		新規	
	公民館だより「けやき」の発行	12回	6,300部/回			
	公民館運営 事業 (主催事業)	○庄和地区公民館・庄和南公民館			中央公民館	
		庄和地区市民大学	31回			1,374人
公民館まつり		1回	1,713人	(1,496人)		
庄和地区体育祭		1回	1,300人	(-)		
正風館音楽祭		1回	279人	(222人)		
子育てサロン		6回	132人	(160人)		
井戸端サロン		20回	309人	(255人)		
教養講座「水引でお花のフレームを作ろう！！」		1回	19人	(49人)		
Showaキッズぴあ		1回	596人	(481人)		
健康講座「パドル体操で身も心も健康に」		2回	30人	(55人)		
しょうわ塾「簡単ロゼット作り&生演奏deヨガ」「グラウンドゴルフ」「星空教室」		3回	84人	(215人)		
人権研修会		1回	52人	(29人)		
利用者のつどい		1回	52人	(29人)		
学校開放講座「心も体も健康に！歌とレクで楽しく健康増進」		1回	24人	(16人)		
ステップアップギャラリー		11回	-	(-)		
庄和地区芸能大会ふれあいステージ		1回	230人	200人		
庄和南公民館ロビー展示イベント		1回	-	(-)		
教養講座(庄和南)「貼るだけ簡単ペンケースを作ろう」「チャレンジ折り紙」「スマートフォン体験講習会」		5回	91人	83人		
「初めての手打ちそば講習会」「折り紙でつくろう！正月飾り」						
庄和南音楽鑑賞会「春待ちコンサート」「フラメンコLive」		2回	141人	119人		
教養講座「庄和南将棋の広場」		51回	357人	80人		
公民館だより「しょうわ」の発行		6回	13,500部/回			

基本目標	3 市民が主役となって活躍し、生きがいを持てるまち
政策	3. だれもが学べ、地域に生かせるまちをつくる
施策	2. 生涯学習の振興

令和5年度の主な取組

- 生涯学習人材情報登録制度を活用した「生涯学習市民塾」「游学1日体験教室」「かすかべし出前講座」を実施し、また、生涯学習市民推進員と公民館が連携して実施する生涯学習研究事業など、生涯学習の推進に関する様々な事業を展開した。
 - ・第2次春日部市生涯学習推進計画に基づき、実施計画関連事業を取りまとめ、全庁的な生涯学習の推進に努めた。
 - ・生涯学習市民推進員と公民館等の連携による生涯学習研究事業を実施した。
 - ・春日部市生涯学習人材情報登録制度において、個人・団体の指導者・ボランティアを登録し、生涯学習活動を支援した。
 - ・かすかべし出前講座を実施し、生涯学習人材情報登録者を講師とした「市民講師編」と、市職員を講師とした「行政編」で、市民に多様な学習機会を提供した。
 - ・生涯学習人材情報登録者を講師とした「生涯学習市民塾」を開催した。
 - ・生涯学習人材情報登録者を活用した「游学1日体験教室」を開催し、多くの市民に体験学習の機会を提供した。
 - ・かすかべ游学フェスティバルを実施し、生涯学習をPRした。
 - ・学習成果等が記録できる生涯学習パスポート「はるがく帳」を作成・配布し、市民の自主的な学習活動を奨励した。

今後の課題

- 第2次春日部市生涯学習推進計画の円滑な推進に努める必要がある。
- 市民の学習意欲は高く、何かを学んだり、活動してみたいと思っていることから、市民のニーズを捉えた魅力ある講座、教室を提供するとともに、大学等の開放講座、博物館や資料館等の企画展など、様々な生涯学習機会の情報を市民一人ひとりに合わせて提供する必要がある。
- 市民が学習目標や計画を立てて継続的に学習活動に取り組めるようにすることが必要である。
- 生涯学習を一層推進する上で、市民の学習成果を地域で生かすことが重要であることから、学習成果を生かすための活動の場を確保することが必要である。
- 生涯学習人材情報登録制度による登録者を増加させるとともに、登録者の活動機会を拡大させる取組が必要である。
- 生涯学習市民推進員が、公民館等と連携した事業を一層推進するための取組が必要である。
- 市民が安心して学習に取り組める環境を提供する必要がある。

評価

新型コロナウイルス感染症の影響による前期講座の減少や出前講座の取り扱いを中止した講座等の影響による講座の減少が見られたが、それらを除いた講座等の提供は前年度以上となっていることから、市民への学習機会の提供を実施したことは評価できる。

今後においても、新型コロナウイルス感染症の影響により減少した事業を実施するとともに、市民のニーズを捉えた講座等を企画し、市民が様々な講座等を安心して学ぶことができるよう各事業を計画的に推進していただきたい。

また、生涯学習人材情報登録者の活用機会を増やすため、生涯学習市民塾等の講座の実施方法・PR方法等を工夫し、より多くの市民が参加しやすい講座となるよう努めていただきたい。

今後も、行政・関係団体等で連携を図り、市民に生涯学習に対する意識啓発を行うとともに、市民が学習成果を生かす機会の充実を図っていただきたい。

※各事務事業の実績

事務事業	令和5年度実績 (事業費・事業の内容)	担当課												
生涯学習推進事業	<p>571千円</p> <p>春日部市生涯学習推進計画に基づき、生涯学習推進計画令和5年度実施計画関連事業を取りまとめた。</p> <p>実施計画数 389 総事業数 2,644</p> <p>春日部市生涯学習市民推進員の企画・運営により、生涯学習事業の実施、交流紙の発行を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯学習研究事業 15 事業 参加者 323 人 (公民館等との連携事業) 生涯学習交流紙「游学」の発行 (No30、31) <p>春日部市生涯学習人材情報登録制度の登録者を活用し、市民に多様な学習機会を提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 登録数 150 件 生涯学習市民塾 84 講座 参加者 1,607 人 游学1日体験教室 19 講座 参加者 241 人 <p>かすかべし出前講座を実施し、市民に多様な学習機会を提供した。</p> <p>メニュー数 204 件 実施 70 件 参加者 2,903 人</p> <p>かすかべ游学フェスティバルを実施した。</p> <p>参加事業 58 事業 参加者 113,925 人</p> <p>生涯学習パスポート「はるがく帳」を配布した。 758 部</p> <p>【第2次総合振興計画後期基本計画の成果指標における目標及び経過】</p> <table border="1" data-bbox="391 1308 1254 1469"> <thead> <tr> <th>施策の成果指標</th> <th>令和4年度末 実績</th> <th>令和5年度末 実績</th> <th>基本計画 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生涯学習関連事業数</td> <td>2,676事業</td> <td>3,052事業</td> <td>2,688事業</td> </tr> <tr> <td>かすかべし出前講座依頼件数</td> <td>73件</td> <td>70件</td> <td>53件</td> </tr> </tbody> </table>	施策の成果指標	令和4年度末 実績	令和5年度末 実績	基本計画 目標値	生涯学習関連事業数	2,676事業	3,052事業	2,688事業	かすかべし出前講座依頼件数	73件	70件	53件	社会教育課
施策の成果指標	令和4年度末 実績	令和5年度末 実績	基本計画 目標値											
生涯学習関連事業数	2,676事業	3,052事業	2,688事業											
かすかべし出前講座依頼件数	73件	70件	53件											

基本目標	3 市民が主役となって活躍し、生きがいを持てるまち
政策	4. 文化・芸術や郷土の歴史を大切にするまちをつくる
施策	1. 文化・芸術の創造と振興

令和5年度の主な取組

- 心の豊かさが求められている中、文化芸術に対する市民の関心が高まっており、芸術を鑑賞する機会や文化芸術活動への支援が求められていることから、様々な事業を実施した。
- 公民館では、音楽鑑賞会など市民が身近に芸術文化に親しむことができる事業を展開した。
- 春日部市の芸術文化に関するホームページで情報提供などを行い、文化芸術に触れる機会と情報提供の充実を図った。
- 文化芸術団体が行う地域において優れた創作、創造等の文化芸術活動に対し、芸術文化振興事業補助金を交付し、活動の支援を図った。
- 市民文化会館については、利用者の安心安全を確保するため、春日部市民文化会館非構造部材（特定天井）等耐震対策工事を行い、吊り天井落下防止やエレベーターの更新、多目的トイレの改修を進めている。
- 春日部市美術展覧会（市展）は、1人2点まで出品を可能とするとともに、高校生世代の出品料を無料とした。また、「ギャラリートーク」・「ホワイエコンサート」に加え、実行委員会委員の先生方による特別企画を実施し内容の充実を図った。内容は、日本画部門は画材の紹介、洋画部門は切り絵ワークショップ、彫刻部門は作品制作の実演、書部門は席上揮毫となっている。
- 「彫刻のある街づくり」により設置された22体のうち6体については、専門業者による清掃・メンテナンスを行った。また、公募の市民ボランティア及び職員ボランティアによる清掃についても9月・3月と2回実施した。小学生の参加もあり、幅広い年代での取り組みとなった。
- 芸術文化の振興を図るため、市内在住の重要無形文化財保持者（人間国宝）であり、かすかべ親善大使としても活躍している「増村 紀一郎」先生に、漆芸に関する講演や作品制作の過程を市民が観覧できる事業を実施した。初の取組であったが大変好評を博した。

今後の課題

- 市民に喜びや感動、心の安らぎをもたらすため、芸術鑑賞の機会の提供や市民の活動へのさらなる支援を通じて、文化芸術の振興を図る必要がある。
- 市民の文化芸術に関する意識をさらに高めるとともに、文化芸術団体の相互交流の促進、及び連携した取組が今後必要である。
- 市民文化会館については、令和5年度から6年度にかけて、春日部市民文化会館非構造部材（特定天井）等耐震対策工事を行っているため、大ホール・小ホール・展示室の貸館を中止している。令和6年10月1日からの利用再開に向けて確実に工事を終了させ、円滑な会館運営を行う。また、指定管理者制度等、民間活力の導入について検討を進め、早期に方向性を決定する。なお、第2次総合振興計画後期基本計画の成果指標とした利用者満足度については、90%を目標に、市民ニーズの把握に努め、利用者の利便性の向上を図っていく必要がある。
- 市展については、秋の恒例イベントとして定着しているが、今後においてさらなる出品数及び来場者数の増加を図っていくよう、広報の強化を含めた新たな取組を積極的に行う必要がある。
- 芸術文化の振興に関する事業も様々な世代に向けた取組が今後重要になる。

評価

市展は新たな試みとして、特別企画を開催したことで内容の充実に努めたことは評価できる。芸術文化の振興に関して、新規事業として講演・実演会を行い、市民に文化芸術に触れる機会を設けただけでなく、地域の人材を活用したという点も評価できる。

さらに、市民文化会館については、予定通り工事を終了させ、今後も市民文化の向上を図っていただきたい。

今後も、文化芸術団体の自主的な活動の支援に努めるとともに、市民との協働による事業を推進し、様々な形で芸術文化の振興に努めていただきたい。

※各事務事業の実績

事務事業	令和5年度実績 (事業費・事業の内容)	担当課								
市民文化会館 運営事業	<p>236,102千円</p> <p>利用者が安全かつ快適に利用できるよう、施設・設備の管理運営に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数 154,844人 (令和4年度利用者数 156,626人) ・駐車場利用台数 48,220台 (令和4年度利用台数 46,216台) <p>利用者数は前年度に比べ1,782人減少した。また、駐車場の利用台数は2,004台増加した。</p> <p>※平成28年4月1日より中央図書館利用者の駐車場使用料が1時間無料</p> <p>(1) 市民文化会館施設設備等の維持補修 市民や各種団体等の利用者が、安全かつ快適に施設を利用できるように市民文化会館の施設設備等の維持補修を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・維持補修 (火災報知設備更新修繕ほか) <p>(2) 市民文化会館利用者サービスの充実 市民文化会館利用者の利用上や舞台演出上の相談に対しての助言を充実し、利用者の満足度を高めた。また、大ホール、小ホール、展示室の催し物の情報を市ホームページやチラシ配架等で広く市民に提供し、催し物の目的が達成できるよう支援した。</p> <p>【第2次総合振興計画後期基本計画の成果指標における目標及び経過】</p> <table border="1" data-bbox="392 931 1254 1093"> <thead> <tr> <th>施策の成果指標</th> <th>令和4年度末 実績</th> <th>令和5年度末 実績</th> <th>基本計画 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民文化会館利用者満足度</td> <td>74.7%</td> <td>72.8%</td> <td>90.0%</td> </tr> </tbody> </table>	施策の成果指標	令和4年度末 実績	令和5年度末 実績	基本計画 目標値	市民文化会館利用者満足度	74.7%	72.8%	90.0%	教育総務課
施策の成果指標	令和4年度末 実績	令和5年度末 実績	基本計画 目標値							
市民文化会館利用者満足度	74.7%	72.8%	90.0%							
芸術文化振興 事業	<p>7,386千円</p> <p>①かすかべの芸術文化ポータルサイトの運営 アクセス数 3,649件 イベント情報掲載数40件 後援事業 承認40事業</p> <p>②春日部市美術展覧会 (第17回) 期 日 11/14~11/19 会 場 東部地域振興ふれあい拠点施設 展示数 210点 来場者数 3,007人 (WEB市展アクセス544件)</p> <p>③彫刻清掃市民ボランティア及び職員ボランティア (公募) 第1回 9/10 (10人) 第2回 3/10 (12人)</p> <p>④芸術文化振興事業補助金 交付20事業 交付額 1,959,000円</p> <p>⑤芸術文化振興事業 増村紀一郎先生による講演および実演会 10/15 84人 パネルで知る!春日部の芸術文化 9/4~9/18 ララガーデン</p> <p>これらの事業を通じ、市民の芸術文化活動を支援し、芸術文化活動の活性化を図るとともに、市民が身近に芸術文化に触れる機会の充実を図った。</p> <p>【第2次総合振興計画後期基本計画の成果指標における目標及び経過】</p> <table border="1" data-bbox="392 1753 1254 1861"> <thead> <tr> <th>施策の成果指標</th> <th>令和4年度末 実績</th> <th>令和5年度末 実績</th> <th>基本計画 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市展への出品数</td> <td>200件</td> <td>178件</td> <td>400件</td> </tr> </tbody> </table>	施策の成果指標	令和4年度末 実績	令和5年度末 実績	基本計画 目標値	市展への出品数	200件	178件	400件	社会教育課
施策の成果指標	令和4年度末 実績	令和5年度末 実績	基本計画 目標値							
市展への出品数	200件	178件	400件							

基本目標	3 市民が主役となって活躍し、生きがいを持てるまち
政策	4. 文化・芸術や郷土の歴史を大切にすまちをつくる
施策	2. 郷土の歴史と文化遺産の保存と活用

令和5年度の主な取組

- 文化財保護事業では、春日部市文化財保存活用地域計画が文化庁長官の認定を受けたほか、文化遺産の保存の取組として、無形民俗文化財の後継者養成事業や有形文化財の防災設備保守点検事業などへの補助金を交付した。埋蔵文化財の調査では、開発に先立つ確認調査57件及び個人住宅建築に先立つ発掘調査3件を実施するとともに、発掘調査報告書を1冊刊行した。また、文化遺産の活用では、各種講座の開催、指定文化財の解説板設置、小学校4校への出張授業、関係団体が実施する講座への講師派遣など、多様な普及啓発事業を実施した。
- 市史編さん事業では、「第2次春日部市市史編さん事業計画（第2期）」に基づき、『自然誌編』を刊行した。また、保存年限を経過した公文書のうち、歴史資料として重要な公文書の移管を受け、目録を作成した。
- 埋蔵文化財発掘調査受託事業では、粕壁地内の民間開発に伴う発掘調査及び整理調査1件、小淵地内の民間開発に伴う整理調査1件、土地区画整理事業に伴う発掘調査1件の計3件を受託し、発掘調査報告書を2冊刊行した。
- 郷土資料館では、4回の企画展示を実施した。夏季展示では、「あなのあいた壺」と題し、県指定文化財「権現山遺跡出土底部穿孔土器」を紹介した。観光協会と連携したスタンプラリーの効果により入館者数が倍増し、海外からの来館者が皆増の5,109人を数え、郷土資料館の来館者数は14,761人、講座等の参加者・利用者は2,645人を数えた。市内小中学校への出張授業「でばりい資料館」は、8校10件、計681人を対象に実施した。
- 令和6年8月に開所する大風文化交流センターについては、改修工事が完了し、大風文化と郷土の歴史を広めるための展示、さらに各所に分散管理した郷土資料の一元管理を進める。
- 史跡神明貝塚保存活用事業では、公有地化に着手した。また、シンポジウムの開催や、包括的連携協定締結機関である日本工業大学と共同で史跡アプリの基本構想の研究を行った。

今後の課題

- 市民が文化遺産を自らの宝や資源として認識し、共有するため、春日部市文化財保存活用地域計画に基づき、地域社会総がかりで各種文化遺産の調査、保存、活用を推進する必要がある。
- 史跡神明貝塚については、公有地化のための土地購入や史跡アプリの開発研究、活用の担い手を養成するための普及啓発事業に継続的に取り組む必要がある。
- 市史の編さんについては、第2次春日部市市史編さん事業計画（第2期）に基づき、石造物編の調査、地域資料の収集・整理・保存を促進する必要がある。
- 郷土資料館については、調査・研究成果の周知並びに郷土愛の醸成、多様な来館者への対応のため、展示の更新、企画展示の充実及び市民や児童生徒への学習支援活動の充実が求められている。また、多様化する社会のニーズに対応するため、収蔵資料の公開やホームページ、ブログの充実などICTの活用が求められている。
- 各種文化遺産や市史資料、郷土資料が公共施設や学校での分散管理となっているため、収蔵施設の一元化と適正な保管、有効的な公開活用を進める必要がある。

評価

春日部市文化財保存活用地域計画が文化庁長官の認定を受けたこと、史跡神明貝塚の公有地化に着手するとともに、シンポジウムや小学校への出張授業、史跡アプリの基本構想の研究など史跡の価値を市の内外に発信する普及啓発事業を推進したことは評価できる。今後は、春日部市文化財保存活用地域計画に基づき、史跡をはじめとする文化遺産の保存・活用の推進、地域社会総がかりで取り組む体制の構築に努めていただきたい。

「第2次春日部市市史編さん事業計画（第2期）」に基づき、自然誌編を刊行したことは評価できる。今後は、石造物の調査や地域資料の収集・整理・保存を計画的に進めていただきたい。

郷土資料館については、県指定文化財「権現山遺跡出土底部穿孔土器」を紹介する企画展示を開催したことは、指定文化財の周知に寄与したと評価できる。また、観光分野との連携により、入館者が倍増したことは、本市の魅力発信に貢献したといえる。博学連携の促進のため、来館できない学校に対し実施している「でばりい資料館」についても、郷土資料館への団体見学とあわせて、特色ある学習機会として、創意工夫の上、活用を更に進めていただきたい。

各種郷土資料の適切な管理、保存に供する収蔵施設については、一元的な管理を実現するため、公共施設の管理・運営に関わる各部署と連携しながら施設の確保を進めるとともに、その積極的な公開と活用を図るための施設として大風文化交流センターを整備し、さらなる市民への情報提供の充実と郷土愛の醸成に努めていただきたい。

※各事務事業の実績

事務事業	令和5年度実績 (事業費・事業の内容)	担当課								
文化財保護事業	<p>12,260千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化財保護審議会 会議を1回開催し、教育委員会に文化財指定を建議した。 文化財保存活用地域計画協議会 会議を1回開催し、本市の地域計画が文化庁長官の認定を受けたことを報告した。 普及啓発事業 オンライン土器作り教室50人（令和4年度：45人） 民俗芸能公開事業140人 文化財等解説板設置（常楽寺の銅造阿弥陀如来坐像） 文化財防火デー防災訓練の実施（浄春院） 文化財所有者への補助事業 有形文化財の防災設備保守点検事業2件、修理工事事業1件、防災設備修繕事業1件、無形民俗文化財の後継者養成事業5件に対し、補助金を交付した。無形民俗文化財の保存会を対象とした研修会を実施し、コロナ禍後の活動再開について情報共有を行った。 埋蔵文化財調査 市内遺跡の保護のため、開発行為に先立つ埋蔵文化財の確認調査等を通年実施した（照会110件、確認調査57件、発掘調査3件）。（令和4年度：照会96件、確認調査49件） <p>【第2次総合振興計画後期基本計画の成果指標における目標及び経過】</p> <table border="1" data-bbox="391 1115 1252 1220"> <thead> <tr> <th>施策の成果指標</th> <th>令和4年度末 実績</th> <th>令和5年度末 実績</th> <th>基本計画 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>文化遺産への理解・関心度</td> <td>33.3%</td> <td>83.1%</td> <td>53.3%</td> </tr> </tbody> </table>	施策の成果指標	令和4年度末 実績	令和5年度末 実績	基本計画 目標値	文化遺産への理解・関心度	33.3%	83.1%	53.3%	文化財課
施策の成果指標	令和4年度末 実績	令和5年度末 実績	基本計画 目標値							
文化遺産への理解・関心度	33.3%	83.1%	53.3%							
市史編さん事業	<p>4,927千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 市史編さん委員会（1回開催） 市史編集会議（1回開催） 市史編さん事業では、「第2次春日部市市史編さん事業計画（第2期）」に基づき「春日部市史自然誌編」を刊行した。 歴史資料として重要な公文書等の収集、整理及び保存を行い、歴史資料の散逸防止を継続し、目録を作成した。 『新編 図録 春日部の歴史』を、市役所、教育センター、庄和総合支所、道の駅「庄和」、ぷらっとかすかべの市内5か所で頒布した。 広報かすかべに「かすかべ今昔絵巻」を連載し、市の歴史を紹介した。 	文化財課								

※各事務事業の実績

事務事業	令和5年度実績 (事業費・事業の内容)	担当課								
郷土資料館 運営事業	<p>9,928千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度年間入館者数 14,761人 (令和4年度: 7,799人) 企画展示 (3/18~5/2・1,253人) 春季展示 (5/20~7/2・1,440人) 夏季展示 (7/22~9/3・2,331人) 夏季展示記念講演会 (9/2・74人) 展示ミュージアムトーク (14回・延76人) 展示解説講座 (2回・延52人) 小学校地域学習展 (10/3~2/25・6,447人) 体験講座 (6回・延128人) 体験ワークショップ (14回・延143人) 古文書講座 (16回・延204人) 考古学講座 (6回・延124人) 歴史文化講演会 (4回・198人) 出前講座・講師依頼 (24回・延600人) 一般団体見学 (59件・812人) 観光41件565人・デイサービス4件53人・その他14件194人 小・中学校団体見学 (5校5件・437人)・資料受け入れ (26件) でばりい資料館 (8校10件・681人) なぞとき郷土資料館 (10/3~2/25・207人) 燻蒸器修繕 郷土資料館設置の燻蒸器の活性炭タンクゴムパッキンのパーツを交換した。 小学校郷土資料室の整備 展示会の開催及び講座・講演会の実施を通じて、広く市民一般へ郷土「春日部」の歴史・文化を紹介した。あわせて、郷土資料の調査・収集を行い、資料の整理・仮目録作成を進めた。 大凧文化交流センターの展示構想と郷土資料の収蔵管理の準備を進めた。 <p>【第2次総合振興計画後期基本計画の成果指標における目標及び経過】</p> <table border="1" data-bbox="391 1323 1254 1431"> <thead> <tr> <th>施策の成果指標</th> <th>令和4年度末 実績</th> <th>令和5年度末 実績</th> <th>基本計画 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>郷土資料館の利用者数</td> <td>10,504人</td> <td>17,406人</td> <td>13,500人</td> </tr> </tbody> </table>	施策の成果指標	令和4年度末 実績	令和5年度末 実績	基本計画 目標値	郷土資料館の利用者数	10,504人	17,406人	13,500人	文化財課
施策の成果指標	令和4年度末 実績	令和5年度末 実績	基本計画 目標値							
郷土資料館の利用者数	10,504人	17,406人	13,500人							
埋蔵文化財 発掘調査受託 事業	<p>2,500千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 粕壁地内の共同住宅建築に係る発掘調査及び整理調査1件 小渕地内の宅地造成に係る整理調査1件 西金野井第二土地区画整理事業に係る発掘調査1件 (令和4年度: 小渕地内の宅地造成に係る発掘調査1件) 	文化財課								
史跡神明貝塚 保存活用事業 【新規】	<p>37,265千円</p> <ul style="list-style-type: none"> シンポジウム (42人) (令和4年度: 60人) 日本工業大学との史跡アプリ基本構想の共同研究 (ワークショップ2回) 土地評価及び測量業務委託 史跡指定範囲の公有地化 (3,127㎡) 	文化財課								

基本目標	3 市民が主役となって活躍し、生きがいを持てるまち
政策	5. スポーツ・レクリエーションを楽しめるまちをつくる
施策	1. スポーツ・レクリエーション活動の推進

令和5年度の主な取組

- 市民全般にわたる心身の健康保持・増進とスポーツ・レクリエーション活動の推進を目的とし、多世代に対応した各種スポーツ教室の開催と世代・種目・技術レベルの多様性に対応する「総合型地域スポーツクラブ」の育成に向けて、市民への啓発と調査研究を推進するとともに、指導者の育成と資質の向上を図るため、様々な事業を展開した。なお、新型コロナウイルス感染症対策にも配慮しながら、参加者が安心安全に参加できるイベントを開催した。
 - ・定員や種目など実施方法を検討し、「楽しく軽スポーツ体験教室」、「健康いっぱい球技教室」、「楽しくドッジボール教室」、「健康エアロビクス&いろいろエクササイズ教室」、「親子スポーツ教室」の5教室を実施した。
 - ・ニュースポーツの普及として「健康づくりのつどい」、地域スポーツの推進として「地域巡回スポーツ教室」を実施した。
 - ・各種イベントや大会の充実として、様々な軽スポーツ・レクリエーションを体験できる「健康スポ・レクフェスタ」、広く市民各層が気軽に参加し、相互の交流と親睦を深める「市民体育祭」を開催した。（市民体育祭地区大会については、8地区のうち7地区が5年ぶり、1地区が4年ぶりに開催）
 - ・春日部市発祥の「フラバレーボール」を広く周知するため、各種教室等のメニューに取り入れ、出前講座でも指導を実施した。
 - ・軽スポーツやパラリンピックの種目の普及・啓発を図るため、市内小・中・義務教育学校の特別支援学級に在籍する児童生徒及び小学校のクラブ活動を対象とした出張授業「軽スポピック」を実施した。
 - ・市内小学生にスポーツの素晴らしさ、体を動かす楽しさを体感してもらうイベントとして、連携協定を締結しているプロスポーツチームと「春スポふれんず2023」を実施した。
 - ・総合型地域スポーツクラブへの支援として、育成中のクラブに対する情報提供を行った。
 - ・スポーツ団体等への支援として、スポーツ協会、レクリエーション協会、スポーツ少年団、スポーツ推進委員協議会へ補助金を交付した。
- 広く全国に「春日部市」と「大風あげ」を周知するとともに、市民のボランティア意識の高揚を図る「春日部大風マラソン大会」を4年ぶりに開催した。（新型コロナウイルス感染症への対応に配慮し、ハーフと5kmの2種目での開催）
- 体育施設にかかる修繕については、利用者の安心安全を最優先事項としており、市で実施した件数は庄和テニスコート照明設備更新修繕や市民武道館弓道場シャッター修繕などの18件（前年度6件）を行った。
また、有料体育施設の100万円未満の修繕業務は指定管理者が実施しており、今年度は429件（前年度289件）を実施した。
- 令和3年6月に策定した、市全域における体育施設のあり方やウイング・ハット春日部周辺を新たなスポーツ・レクリエーション活動拠点として整備することを目的とする「春日部市スポーツ施設マネジメント計画」及び「春日部市総合体育施設整備基本計画」を推進し、検討を行った。
- 大沼陸上競技場のリニューアル整備に向けた現地測量、基本設計及び実施設計に係る業務委託を実施した。

今後の課題

- 多様化するスポーツ・レクリエーション活動に対する市民のニーズや運動に対する意識の高まりがある中で、「いつでも・どこでも・いつまでも」スポーツ・レクリエーション活動に安心安全に参加できる機会や場の提供を図る必要がある。
- スポーツへの関わり方が「する」、「みる」、「ささえる」と多様化する中、各世代のライフステージに合わせたスポーツ環境を整備するとともに、市民のニーズに即したスポーツ教室や体力づくり事業を実施する必要がある。
- 多様なレベルで楽しむことができるスポーツ・レクリエーション活動を普及し、市民の交流機会の拡大を推進するとともに、創意工夫により充実させた、さまざまなスポーツイベントの開催を奨励する必要がある。
- 世代、性別、障害の有無を問わず、だれもが参加して楽しめるスポーツイベントを支援し、地域にねざした生涯スポーツを推進していく必要がある。
- 従来 of スポーツ団体（クラブ）に加え、地域住民が主体的にクラブの指導や運営に参画し、地域のだれもが、継続的にスポーツに親しむことができる「総合型地域スポーツクラブ」の設立と、市民への周知や支援策の研究・検討を進める必要がある。
- 市民体育祭地区大会については、より多くの市民が安心して参加できるように、地域の実情を踏まえ、創意工夫した種目の新設や健康増進等にかかる市民団体の発表の場の設定、レクリエーション要素を取り入れるなど地域コミュニティの推進にかかる種目の提供等を継続する必要がある。
- 市のスポーツ振興の推進役であるスポーツ推進委員の確保が必要である。
- スポーツ・レクリエーション活動における安全・救急対策を関係機関の協力を得ながら充実させるとともに、対応手順をマニュアル化し、緊急時の対処に備える必要がある。
- 体育施設の利用者数は、新型コロナウイルス感染症対策の緩和の影響を受けて、令和3年度と比較し、増加した。また、建設から相当年数を経過した屋内外体育施設や体育設備品の老朽化に伴い、体育施設修繕や体育設備品の買い替えについての要望が多く寄せられている。これまで、安全性の確保を優先に部分補修等を行ってきたが、施設によっては大規模な改修等が必要であるため、体育施設の安全かつ有効な利用促進をより図っていく必要がある。
- 指定管理者による体育施設の管理運営が適切になされるよう、継続的な監視、密接な連絡と指導を今後も行う必要がある。
- 体育施設の維持管理及び総合体育施設（ウイング・ハット春日部周辺）の計画的な整備を推進する必要がある。
- 無料体育施設の管理については、利用者が安心安全に利用できるように、適切に整備を促進していく必要がある。
- 大沼陸上競技場のリニューアル整備が、円滑に計画通りに進めていく必要がある。

評価

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行した令和5年5月8日以降、実施方法を工夫しながら行っていた事業に加え、大風マラソン大会等の休止していたスポーツ・レクリエーション事業を再開するなど、各種事業を前に進めたことは評価できる。

その中で、今後、事業実施にあたっては、市民が安心安全に参加できるように、感染症対策にも配慮しながら、引き続き、市民が「する」、「みる」、「ささえる」など、様々なスポーツとの関わり方、楽しみ方を通して、味わうことができる「スポーツの感動」を多くの市民に広げ、スポーツ活動への参加意欲の喚起に努めていただきたい。今後とも、市民のスポーツ・レクリエーション活動を支援する体制づくりに積極的に取り組み、市民の健康づくりに資するよう、より一層啓発的な事業の推進に努めていただきたい。

体育施設については、体育施設の老朽化が進んでいる状況から、安全性を最優先として、指定管理者と連携を図り、計画的な整備を行っていただきたい。

大沼陸上競技場のリニューアル整備については、令和7年度の整備着手に向け、関係団体等にも意見を聴きながら丁寧に進めていただきたい。

総合体育施設（ウイング・ハット春日部周辺）の段階的な整備を進めるうえで、引き続き用地取得について計画的に行っていただきたい。

体育施設の整備については、利用者の安心安全に配慮し、だれもが安心して気軽に運動ができる施設としていただきたい。

※各事務事業の実績

事務事業	令和5年度実績 (事業費・事業の内容)	担当課												
<p>体育総務事務</p>	<p>11,200千円</p> <p>スポーツ推進審議会(3回)、スポーツ教室(5教室)、地域巡回スポーツ教室(7地区)、健康づくりのつどい(7地区)、市民体育祭(8地区大会、39種目別大会)を開催し、市民への多種多様なスポーツ・レクリエーション活動の普及・推進を図った。</p> <p>【第2次総合振興計画後期基本計画の成果指標における目標及び経過】</p> <table border="1" data-bbox="403 624 1240 781"> <thead> <tr> <th>施策の成果指標</th> <th>令和4年度末 実績</th> <th>令和5年度末 実績</th> <th>基本計画 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スポーツ教室やイベントの満足度</td> <td>79.8%</td> <td>90.7%</td> <td>88.8%</td> </tr> </tbody> </table>	施策の成果指標	令和4年度末 実績	令和5年度末 実績	基本計画 目標値	スポーツ教室やイベントの満足度	79.8%	90.7%	88.8%	<p>スポーツ推進課</p>				
施策の成果指標	令和4年度末 実績	令和5年度末 実績	基本計画 目標値											
スポーツ教室やイベントの満足度	79.8%	90.7%	88.8%											
<p>スポーツ協会補助金</p>	<p>3,008千円</p> <p>スポーツ協会加盟団体の組織育成と活動への助成、各種競技会、市民体育祭種目別大会、春日部市スポーツ賞表彰式、研修会を開催するなど、市のスポーツ振興の推進に重要な役割を担っているスポーツ協会を支援することにより、市の生涯スポーツの普及・振興を図った。</p> <p>特に、春日部市スポーツ賞は、市内在住・在学・在勤の方々を対象に市のスポーツ振興・発展に貢献し、その功績顕著な者及びスポーツ界で優秀な成績を収めた者に対し、その栄誉を顕彰することを目的として授与している。</p> <p>【春日部市スポーツ賞表彰者数】</p> <table border="1" data-bbox="403 1294 1240 1451"> <thead> <tr> <th></th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スポーツ賞表彰者</td> <td>36団体 295人</td> <td>21団体 167人</td> <td>20団体 193人</td> <td>45団体 244人</td> <td>66団体 359人</td> </tr> </tbody> </table>		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	スポーツ賞表彰者	36団体 295人	21団体 167人	20団体 193人	45団体 244人	66団体 359人	<p>スポーツ推進課</p>
	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度									
スポーツ賞表彰者	36団体 295人	21団体 167人	20団体 193人	45団体 244人	66団体 359人									
<p>スポーツ推進委員協議会補助金</p>	<p>425千円</p> <p>役員会(5回)、企画委員会(6回)、各専門部会会議(21回)を実施し、市のスポーツ振興の推進役として、スポーツの推進のための事業に係る連絡調整及び指導者としての資質の向上を図った。また、スポーツ教室・健康づくりのつどい・地域巡回スポーツ教室等で、市民に対するスポーツの実技の指導その他スポーツに関する指導及び助言を充実させた。</p>	<p>スポーツ推進課</p>												

※各事務事業の実績

事務事業	令和5年度実績 (事業費・事業の内容)	担当課												
レクリエーション協会補助金	2,415千円 各種大会、市民体育祭種目別大会、リーダー研修会、市レクリエーション大会を開催するなど、生涯スポーツの普及及び振興に重要な役割を担っているレクリエーション協会を支援することにより、市民へのレクリエーション活動の普及と生活文化の向上並びに明るい地域社会づくりの推進を図った。 令和5年度 事業数 156事業、参加人数 77,310人 (令和4年度 事業数 130事業、参加人数 86,094人)	スポーツ推進課												
スポーツ少年団補助金	1,677千円 各種研修会、部会別の種目別大会、市民体育祭種目別大会、運動適性テスト、親子スポーツのつどい、ミニ駅伝大会を開催するなど、市のスポーツ振興の推進に重要な役割を担っているスポーツ少年団を支援することにより、スポーツを通じた青少年の健全育成を図った。 【親子スポーツのつどい参加者数】 <table border="1" data-bbox="403 1084 1240 1187"> <thead> <tr> <th></th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者数</td> <td>1,161人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>693人</td> </tr> </tbody> </table>		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	参加者数	1,161人	0人	0人	0人	693人	スポーツ推進課
	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度									
参加者数	1,161人	0人	0人	0人	693人									
大風マラソン大会実施事業	6,000千円 マラソン大会を通じて「春日部市」と「大風あげ」を広く全国に周知するとともに、市民のボランティア意識の高揚を図った。 【大風マラソン大会 ランナーエントリー数】 <table border="1" data-bbox="403 1543 1240 1697"> <thead> <tr> <th></th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ランナーエントリー数</td> <td>10,779人</td> <td>8,577人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>4,928人</td> </tr> </tbody> </table>		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	ランナーエントリー数	10,779人	8,577人	0人	0人	4,928人	スポーツ推進課
	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度									
ランナーエントリー数	10,779人	8,577人	0人	0人	4,928人									
民間等プール利用事業	211千円 市と利用に関する協定を締結した民間等プールを利用する市民に対し、民間等プール利用料を助成することにより、市民にプール利用の機会を提供し、市民の健康増進及び体力の向上の促進を図った。 令和5年度 延べ利用人数 770人 (令和4年度 延べ利用人数 0人)	スポーツ推進課												

※各事務事業の実績

事務事業	令和5年度実績 (事業費・事業の内容)	担当課																														
小中学校体育施設開放事業	<p>19,434千円</p> <p>市の生涯スポーツの普及・推進及び地域コミュニティの活性化を図るため、小中学校体育施設（体育館、校庭）について、学校教育に支障のない範囲で開放を行った。</p> <p>【体育施設開放状況】</p> <table border="1" data-bbox="403 521 1240 981"> <thead> <tr> <th></th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>校庭・体育館 利用団体数</td> <td>7,294 団体</td> <td>3,767 団体</td> <td>5,455 団体</td> <td>8,388 団体</td> <td>8,110 団体</td> </tr> <tr> <td>校庭・体育館 利用人数</td> <td>201,607 人</td> <td>100,975 人</td> <td>146,974 人</td> <td>241,001 人</td> <td>236,279 人</td> </tr> <tr> <td>夜間照明施設 利用回数</td> <td>626 回</td> <td>477 回</td> <td>463 回</td> <td>595 回</td> <td>649 回</td> </tr> <tr> <td>夜間照明施設 利用人数</td> <td>35,842 人</td> <td>26,941 人</td> <td>28,967 人</td> <td>38,381 人</td> <td>37,814 人</td> </tr> </tbody> </table>		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	校庭・体育館 利用団体数	7,294 団体	3,767 団体	5,455 団体	8,388 団体	8,110 団体	校庭・体育館 利用人数	201,607 人	100,975 人	146,974 人	241,001 人	236,279 人	夜間照明施設 利用回数	626 回	477 回	463 回	595 回	649 回	夜間照明施設 利用人数	35,842 人	26,941 人	28,967 人	38,381 人	37,814 人	スポーツ推進課
	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度																											
校庭・体育館 利用団体数	7,294 団体	3,767 団体	5,455 団体	8,388 団体	8,110 団体																											
校庭・体育館 利用人数	201,607 人	100,975 人	146,974 人	241,001 人	236,279 人																											
夜間照明施設 利用回数	626 回	477 回	463 回	595 回	649 回																											
夜間照明施設 利用人数	35,842 人	26,941 人	28,967 人	38,381 人	37,814 人																											
体育施設運営事業	<p>248,930千円</p> <p>体育施設指定管理委託（182,864千円）、体育施設修繕18件（21,502千円）、体育施設除草業務3件（23,608千円）等を実施し、体育施設の管理、運営を行った。</p> <p>【第2次総合振興計画後期基本計画の成果指標における目標及び経過】</p> <table border="1" data-bbox="403 1243 1240 1346"> <thead> <tr> <th>施策の成果指標</th> <th>令和4年度末 実績</th> <th>令和5年度末 実績</th> <th>基本計画 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市の有料体育施設の満足度</td> <td>93.3%</td> <td>94.9%</td> <td>98.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【市の体育施設の延べ利用者数】</p> <table border="1" data-bbox="403 1447 1082 1550"> <thead> <tr> <th>施策の成果指標</th> <th>令和4年度末 実績</th> <th>令和5年度末 実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市の体育施設の延べ利用者数</td> <td>778,261人</td> <td>872,920人</td> </tr> </tbody> </table>	施策の成果指標	令和4年度末 実績	令和5年度末 実績	基本計画 目標値	市の有料体育施設の満足度	93.3%	94.9%	98.1%	施策の成果指標	令和4年度末 実績	令和5年度末 実績	市の体育施設の延べ利用者数	778,261人	872,920人	スポーツ推進課																
施策の成果指標	令和4年度末 実績	令和5年度末 実績	基本計画 目標値																													
市の有料体育施設の満足度	93.3%	94.9%	98.1%																													
施策の成果指標	令和4年度末 実績	令和5年度末 実績																														
市の体育施設の延べ利用者数	778,261人	872,920人																														

学識経験者による意見

IV 学識経験者による意見 令和6年度（令和5年度対象）

教育委員会の点検及び評価を行うにあたって、客観性・透明性を確保するため、点検評価の方法や結果について、学識経験者3人をもって組織する春日部市教育委員会事務評価委員会から、次のとおり、ご意見をいただいた。

1 教育委員会の活動

- ・市公式ホームページによって市民に情報発信をしていることは評価できる。今後もさらに工夫改善して市民に発信していただきたい。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが第5類に移行して、行政視察等コロナ禍前の状況に戻るよう様々な取り組みをされていることは評価できる。今後もコロナ禍での教訓を活かしながら、引き続き現場に寄り添い、さらに発展的に進めていただきたい。
- ・市内小、中学校のプールのあり方等を見据え、一般市民の使用と学校の水泳授業が実施出来るように整備している、具体的な例として茨城県「はさきマリンプール」の視察、意見交換は、民間プール利用や公営プールを活用して水泳授業を行っていくということを前向きに捉えているものであり、有意義だったものと評価できる。

2 教育委員会が管理・執行する事務

- ・議案等については、遺漏なく審議を行うことができたことは評価できる。
- ・定例会での協議案件が2件あり、活発な意見交換が行われたことは評価できる。
- ・定例会で報告された春日部市元気アップ推進委員会については、他の市町村にはない取組であり、積極的にいじめをなくす土壌づくりに取り組んでいることは評価できる。

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

①学校教育について

- ・物価高騰が続く中、学校給食費の無償及び物価高騰分支援を実施したことは評価できる。また、アレルギーを持つ児童生徒の保護者に給食費無償期間の相当額の助成を行ったことは公平性の観点から評価できる。今後も、食材料費の物価高騰の状況、実質所得などの経済状況、市の財政状況など、総合的な判断に基づく公平かつ適切な施策の推進に努めていただきたい。
- ・先行的な「個別最適な学び」と「協働的な学び」の研究と実践を進められたことは評価できる。今後もさらに研究と実践を進めていただきたい。

- ・教職員の負担軽減に、部活動指導員を3名から7名に増員したことは評価出来る。
- ・市内全小・中・義務教育学校に学校運営協議会を設置し、地域と一体となった教育活動を進めている点は評価できる。また、地域の方々に学校教育の理解と支援が期待できるものと評価できる。
- ・市内全ての小・中・義務教育学校において、地域の教育力を生かしながら魅力ある学校づくりのための特色ある教育活動が進められており評価できる。今後も継続していただきたい。
- ・特別支援学級の設置率が100%となり「多様な学びの場」の充実が図られたことは評価できる。
- ・いじめ・不登校等の解消のための支援が進められたこと、「春日部市いじめ問題対策連絡協議会」の取組の充実が図られ、いじめの防止等のための具体的な取組が進んでいることなど、それぞれの課題に応じた施策を講じ成果をあげたことは評価できる。今後も、人間性や社会性のさらなる育成に努めていただきたい。
- ・不登校児童等への対応については、引き続き幼・保・小の連携や小・中の連携に力を入れながら取り組んでいただきたい。
- ・学校の校舎トイレについては、和便器が中心であり臭気の問題等の様々な課題があることから、子ども達の学校環境の向上を図るとともに、有事の際には地域住民の避難所を担うことから、併せて今後も計画的な施設整備に取り組んでいただきたい。
- ・災害時の避難所でもあり、また温暖化による熱中症対策の観点から全小・中・義務教育学校体育館に、空調設備設置工事着手と実施設計を行った事は評価できる。近年の夏は子ども達にとっても耐え切れない暑さであり、子ども達の健康のための環境整備は評価でき、引き続き環境の整備に努めていただきたい。
- ・教育DXの推進において、通信環境の向上を図り、学習活動に支障がないよう安定稼働に取り組んだことは評価できる。
- ・学校図書館支援員が配置されたことによって、学校図書館の環境が整備され、児童が利用しやすくなったことは評価できる。

②社会教育について

- ・LGBTQや人権意識の高揚を図るための取り組みを着実に進めることができたことは評価できる。
- ・ヤングケアラーなど新たな人権問題も発生しており、今後も差別のない社会の実現に向け、関係団体との連携を図りつつ、人権啓発を推進していただきたい。
- ・人権問題は根深く他人事になりがちだが、一人でも人権問題に向き合っていただく方法として、市民アカデミーを開催し続けていることは評価できる。
- ・「デジタル社会における社会教育について」をテーマとした提言を行ったことは評価できる。今後も、研究や実践を進めていただきたい。
- ・各公民館で、小・中・高校生の居場所として学習スペースを新設されたことは評価で

きる。それに伴い、今後もさらに図書の実を推進していただきたい。

- ・一部公民館において、コロナ禍明けにも関わらず新規で事業を実施していることは評価できる。
- ・年間を通しての様々な生涯学習の取り組みは、市民にとって活動、活躍、学習の場として、また市民の交流の場として運営できた事は評価できる。今後においても、新型コロナウイルス感染症の影響により減少や中止した講座は、引き続き実施に努めていただくとともに、市民のニーズを捉えた講座等を企画し、市民が様々な講座等を安心して学ぶことができるよう各事業を計画的に推進していただきたい。
- ・市展について、新たな試みとして特別企画を開催したことで内容の実に努めたことは評価できる。
- ・春日部市文化財保存活用地域計画が文化庁長官の認定を受けたことは評価できる。
- ・史跡神明貝塚の公有地化に着手するとともに、シンポジウムの開催や史跡アプリの基本構想の研究など、史跡の価値を市の内外に発信する普及啓発事業を推進したことは評価できる。
- ・郷土資料館については、県指定文化財「権現山遺跡出土底部穿孔土器」を紹介する企画展示をはじめ、4回の企画展示を実施したことは、指定文化財の周知及び来場者の文化遺産への興味を引き出すことに寄与しており評価できる。
- ・観光協会と連携したスタンプラリーの実施により郷土資料館の来館者が倍増したことは、本市の魅力発信に貢献したとして評価できる。
- ・博学連携のため、郷土資料館で団体見学や出張授業などが実施されていることは、特色ある学習機会の提供として評価できる。今後も、創意工夫の上、活用をさらに進めていただきたい。
- ・学校教育の現場も含め、スポーツ・レクリエーション活動に係る多種多様な市民ニーズを踏まえ、市民が参加しやすい事業を展開しており、各世代がスポーツ・レクリエーションに親しむことができるよう生涯スポーツを推進していることは評価できる。
- ・「春日部市大風マラソン大会」が4年ぶりに開催され、参加者の活躍の場の提供と、市民ボランティア同士の交流が図れたことは評価できる。
- ・体育施設については、体育施設の老朽化が進んでいる状況から、安全性を最優先として、管理者と連携を図り、計画的な整備を行っていただきたい。
- ・大沼陸上競技場リニューアルの整備に向けた計画は、将来小・中学生の市内陸上競技大会等が円滑に行われるものと期待され評価できる。令和7年度の整備着手に向け、関係団体等にも意見を聴きながら丁寧に進めていただきたい。

4 全体評価

- ・コロナ禍での取組は苦労も多かった中、コロナ禍が明け、これまで実施していた事業に加え、中止していたが再開した事業や新たな事業についても充実した取組が実施されており評価できる。今後も感染症対策に配慮しながら、さらなる事業の実に

努め、市民が春日部市の学校教育や社会教育を受けてよかったと思える取組を推進していただきたい。

- ・各事務事業の実績から、春日部市教育委員会の取組・課題がよくわかり、今後どのように取り組んでいくのかという方向性も見えてくるようであった。コロナ禍前の教育を回復しようとする姿勢とコロナ禍を経て新たな教育の在り方を模索し実践しようとする姿勢が感じとれ、今後も各事業をより一層推進していただき、今後とも、春日部市の明るい未来のために御尽力していただきたい。
- ・令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが第5類に移行したことに伴い、学校教育、社会教育の事業がほぼコロナ禍前に戻り、さらに新規事業の取り組みも図られていた。こども達の教育環境に寄り添った事業や、市民の学習意欲を引き出す工夫をしている多彩な事業が多くあったことは評価できる。今後も引き続きこども達が安心して、市民が生き生きと学べる事業を推進していただきたい。

春日部市教育委員会事務評価委員会

委員長	濱本	一
委員長職務代理者	小林	学
委員	白濱	容麗子

春日部市民憲章

わたしたちのまち春日部は 古利根川と江戸川が流れ
豊かな自然のなかで 伝統 文化 産業を育んできた歴史のあるまちです

わたしたちは この先の時代に想いを馳せ
だれもが住み良い 魅力あるまちを目指して
ここに 市民憲章を定めます

- 一 環境にやさしく かけがえのない自然を守りましょう
- 一 心と体を健やかに 良識ある行動を心がけましょう
- 一 お互いを尊重し ともに助け合い 心かよう信頼を築きましょう
- 一 伝統と文化を大切にし 次の世代に引き継ぎましょう
- 一 広い視野で世界に学び 平和で夢のある未来をつくりましょう

そして
このまちで
ともに生きましょう

(令和3年1月1日制定)

令和6年度 教育委員会点検・評価報告書

発行 令和6年8月
編集発行 春日部市教育委員会
春日部市中央七丁目2番地1
電話 048-739-6800 (直通)